

取扱説明書

保証書付



PARAMOUNT BED

RA-B1 モデル



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

緊急時のベッド操作について ➡ 36 ページ

アフターサービスについて ➡ 61 ページ

設置・配線手順について ➡ 45 ページ

設置に必要な工具

- ニッパー ×1
- スパナ（対辺13mm）×2
- 六角レンチ（5mm）×1
- 六角レンチ（4mm）×1

7F13117200A0

パラマウントベッド株式会社

本書の見かた

このたびは、当社製品（以下、ベッド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本書では、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドを正しく安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ベッドを使用して療養する方ばかりでなく、付き添いの方にも正しく安全な取扱方法を説明してください。
- 本書はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、本書の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。
特別なものを除き本書では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

本書に記載されているマークについて

 Note	特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを示しています。
	参照していただきたいページを示しています。
	ベッドの方向（頭側）を示しています。
	ベッドの方向（足側）を示しています。

おことわり

このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

- ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ） ➡ ベッド用グリップ

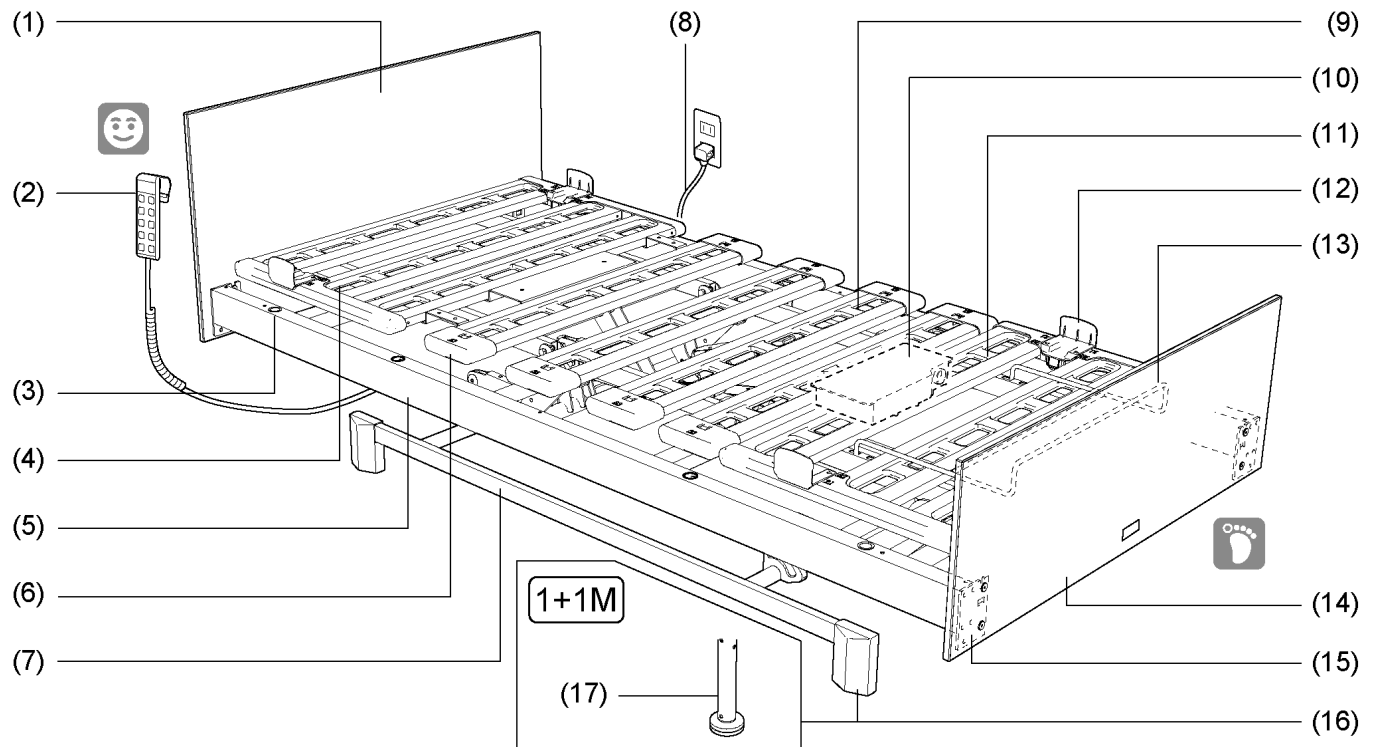
本製品について	3
各部の名称	3
本製品の特長	4
ベッドポジションを自在にコントロール	4
使いやすい手元スイッチ	5
静かなベッド動作	5
サポートオプションに対応	5
使用前の確認と準備	6
安全上の注意	6
すき間について	7
使用条件	8
ベッド操作・使用時	9
電装品について	10
点検・修理について	11
設置上の注意	12
ゆかへの荷重について	13
周辺スペースの確認	13
ベッドの使用方法	14
手元スイッチの種類	14
手元スイッチの使いかた	15
手元スイッチ各部の名称と働き	15
表示パネル	16
電源の入れかた	16
設定モードへの切りかえ	17

ベッドの各動作設定	18
操作ボタンのロック（操作禁止）	19
メモリーポジションの登録	20
設定のリセット	21
ベッドの操作について	22
操作のしかた	22
角度制限機能	24
一旦停止後のさげ動作について	24
メモリーポジション	24
適合オプション一覧	25
適合オプション一覧	25
適合表	26
ベッドサイドテーブル	27
電動介護リフトの使用上のご注意	28
ActiveSleepANALYZER(NN-1030)	
取付方法	29
適合オプションの組み合わせと取付位置	31
ベッド用グリップを使用する場合	32
ベッドサイドレールを使用する場合	33
適合マットレス	34
適合マットレス	34
緊急時のベッド操作	36
緊急時のベッド操作	36
手動での背さげ／戻しかた	36

スマートハンドルによるベッド操作	37	アフターサービス	61
故障かなと思ったら	38	アフターサービスについて	61
故障かなと思ったら	38	お問い合わせ先	62
こんなときは	41		
定期点検と日常のお手入れ	41		
定期点検	41		
日常のお手入れ	41		
長期保管と移動（移設）	42		
仕様	43		
設置・配線手順	45		
梱包部品の確認	45		
ベッド本体	45		
ボードセット	46		
組立準備	47		
重量を軽くする場合の足ボトムの取り 外し・取り付け	48		
固定バンドの取り外し	49		
電源コードの配線	50		
手元スイッチコードの配線	53		
ボトム幅の切りかえ	55		
マットレス止めの取り付け・取り外し	56		
ボードの取り付け・取り外し	58		
組立後の点検	60		

各部の名称

各部の名称



	名 称	参照先
1	ヘッドボード	ボードの取り付け・取り外し(P.58)
2	手元スイッチ	手元スイッチの使いかた(P.15)
3	オプション取付穴（セミシングル／マットレス幅 91cm 専用）※	—
4	背ボトム	—
5	サイドフレーム	—
6	ボトムエッジ	ボトム幅の切りかえ(P.55)
7	ベースフレーム（3 モーターのみ）	—
8	電源コード	電源コードの配線(P.50)
9	膝ボトム	—
10	コントロールボックス	—
11	足ボトム	重量を軽くする場合の足ボトムの取り外し(P.48)
12	マットレス止め（小）	マットレス止めの取り付け・取り外し(P.56)
13	マットレス止め（大）	
14	フットボード	ボードの取り付け・取り外し(P.58)
15	ボード受金具	
16	脚座	—
17	脚(1+1 モーターのみ)	—

※シングルサイズ（マットレス幅 97cm）の場合はオプション受セット（RQ-PB06S：別売）が必要です。

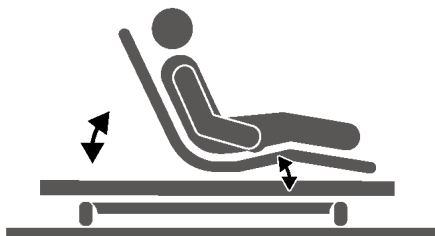
本製品の特長

この製品は、ご家庭でのライフスタイルにあわせて多目的にご利用いただくために作られたベッドです。

ベッドポジションを自在にコントロール

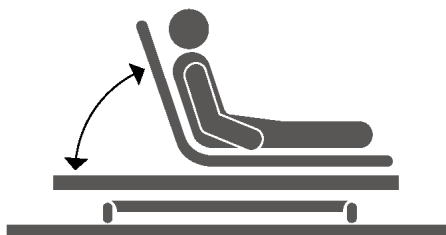
らくらくモーション

- 背ボトムの「あげ／さげ」と連動して、足ボトムが自動で動作する。
- 身体のずれを軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持する。



背あげ

- ベッドからの起きあがりがより楽になる。
- 上体を起こした姿勢を保持しやすい。



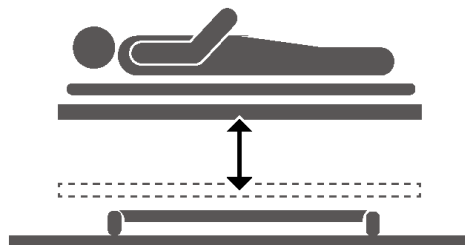
膝あげ

- 背あげ / 背さげ時の身体のずれを軽減する。
- 足をあげた状態を保持しやすい。



高さ調節（3 モーターのみ）

ベッドの乗り降りや介護の負担を軽減する。



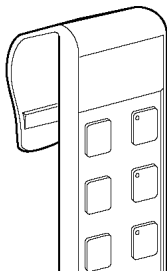
メモリーポジション

あらかじめ登録されたポジションに向けて、ベッドの「背（頭）」・「膝（足）」・「高さ」を調節し、好みのポジションを登録することができる。

本製品の特長

使いやすい手元スイッチ

- 手元スイッチの画面にベッドの状態（背の角度など）が表示されます。
- ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感であがる／さがるを区別できます。



静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。

サポートオプションに対応

身体の状態にあわせて、サポートオプションであるベッドサイドレール（別売）やベッド用グリップ（別売）などを取り付けることができます。

シングルサイズ（マットレス幅 97cm）はオプション受セット（RQ-PB06S：別売）が必要です。

 適合オプション一覧(P.25)

安全上の注意

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※ 本書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

安全上の注意

すき間について



けい こく
警 告

すき間に注意してください。

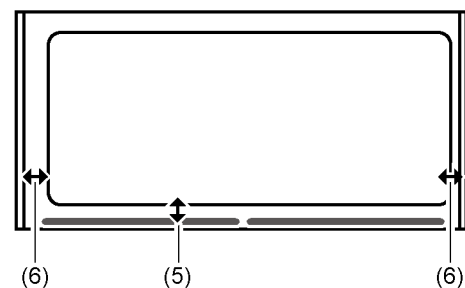
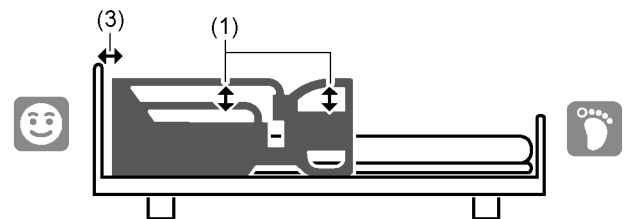
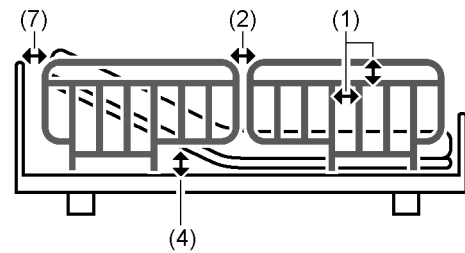
ベッドの各部にはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組み合わせるとすき間ができます。下記のすき間に注意してください。

- (1) ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- (2) 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- (3) ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- (4) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
- (5) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
- (6) ボードとマットレスのすき間
- (7) あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間など

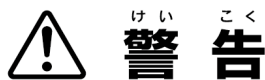
これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは、正しい組み合わせでご使用ください。

 適合オプションの組み合わせと取付位置(P.31)



使用条件



操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 電源プラグを抜く。
- ベッド操作をロック（操作禁止）する。

 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.19)

乳幼児やお子様には使用しないでください。

本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部をはさむ・転落・けがのおそれがあります。

火気に近づけないでください

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などのおそれがあります。



2 人以上で使用しないでください。

- このベッドは 1 人用の設計になっています。2 人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
- ベッドに乗る方の合計体重が 最大利用者体重を超えていないこと。(最大利用者体重は仕様を確認してください。)
- ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。

- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、パラテクノコールセンターに依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。



ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。（安全動作荷重は仕様を確認してください。）

ボードに濡れたタオルなどをかけたり、加湿器などの蒸気を直接あてないでください。

ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください。

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

ベッド操作・使用时



以下の使いかたはしないでください。

ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。破損・変形・故障するおそれがあります。

- ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰かける。
- サイドフレームやヘッドボード・フットボードを手すり代わりにする。
- 足をかけて乗り降りする。
- あがった状態の背ボトムを手すり代わりにする。
- ベッドを踏み台代わりにする。
- ベッド上で飛び跳ねる。



ベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足などを入れないでください。

サイドフレームとボトムの間に、手（指）を入れた状態でボトムの端に座ると、はさまれてけがをするおそれがあります。

ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。

- 身体の一部をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

介護者の方などが、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す場合は、ボトムの角度やベッドの高さを確認してください。

万一のベッドからの転落や背あげ時の上体の倒れに備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にし、ベッドの高さを最低高さまでさげてください。

ベッドをご使用の方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください。

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。



背あげのときなど、あがっているボトムに乗らないでください。

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形のおそれがあります。



移乗のときなどに、マットレス止めに身体をぶつけないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

ベッドの角に注意してください。

足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。



電装品について



手元スイッチなどの電装品の取り扱いに注意してください。

- 電装品について、以下の取り扱いをしないでください。ベッドの誤作動により、けが・故障・感電・火災のおそれがあります。
 - ぶつける
 - 傷をつける
 - 落とす
 - コードを無理に引っ張る
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください。

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください。

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作のおそれがあります。なお、他の ME 機器と併用するときは、安全をご確認の上で使用ください。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください。

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりを付着させないでください。

- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に水などをかけないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

点検・修理について



けい こく
警告

お客様による修理・改造はしないでください。

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

ベッドは定期的に点検してください。

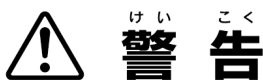
使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ・可動部の動作・破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

地震・火災・水害などで被災したベッドを使用しないでください。感電・火災、ベッドの動作異常で、けがをするおそれがあります。パラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

設置上の注意

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドを組み立て・設置した後に部屋中の移動や向きの変更が困難な場合があります。



ベッド、適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください。

コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下に通す場合は、ベッドの可動部（ハイローリンクなど）でコードを圧迫しないように通してください。

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください。

- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。



ベッド周辺のスペースを確保してください。

ベッドを操作するとき、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください。

寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

以下の場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器による冷氣や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

設置上の注意

ゆかへの荷重について

ベッド使用時にゆかにかかる荷重は以下の通りです。
この荷重に耐えられる場所に設置してください。
ベッド重量は仕様をご確認ください。

3 モーター（RA-B136S*）の場合

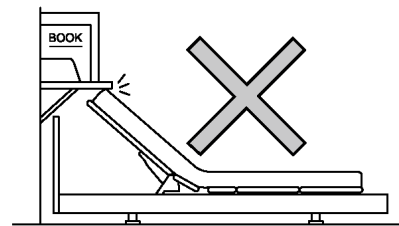
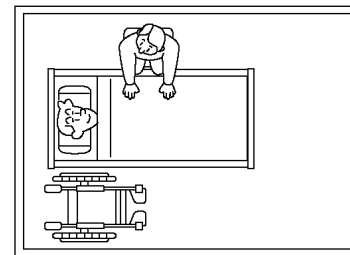
ベッド（最大 84kg）
+
寝具・オプションなど
+
使用する方の体重

1+1 モーター（RA-B116S*）の場合

ベッド（最大 64kg）
+
寝具・オプションなど
+
使用する方の体重

周辺スペースの確認

ベッド周辺のスペースを確認して設置してください。



ベッドを使用する方の状況にあわせて、必要なスペースを確保してください。

- ベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か
- 車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するか

ベッドを操作するとき、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらない位置に設置してください。

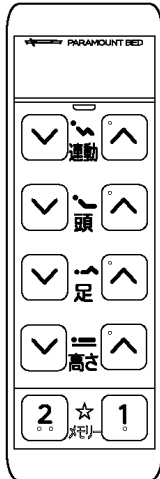
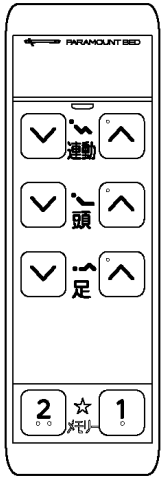
- 家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

介護環境で使用する場合

介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるかを考慮してください。

例) シーツ交換、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助など

手元スイッチの種類

ベッド品番		RA-B136S*	RA-B116S*
機種		3 モーター	1 + 1 モーター
ボタン数		10	8
手元スイッチ			
ベッド動作	らくらくモーション	○	○
	背あげ・さげ	○	○
	膝あげ・さげ	○	○
	高さ調節	○	—
	メモリーポジション	○	○

警告

手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。

ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手（指）をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

手元スイッチの取り扱いに注意してください。

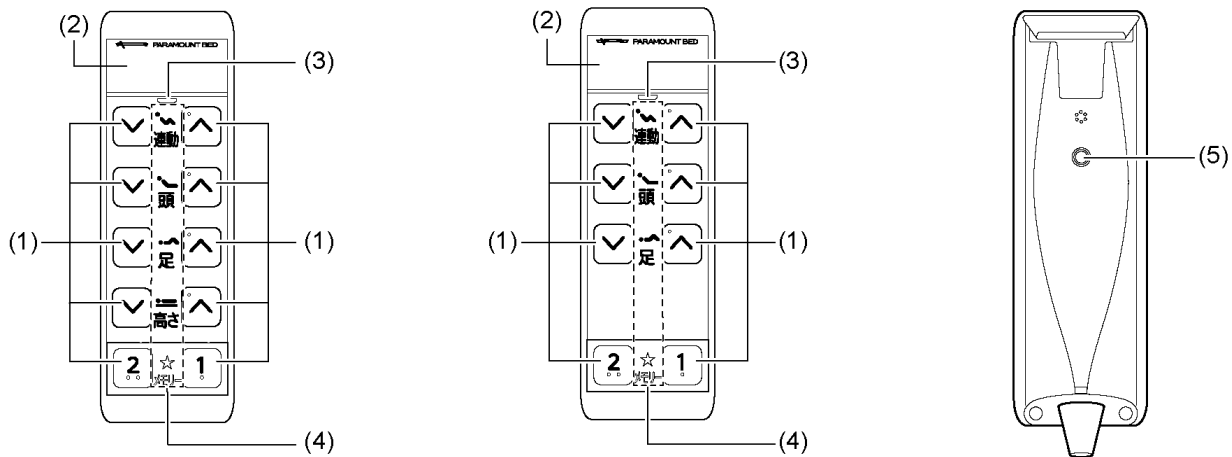
ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりするおそれがあります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

- ぶつけたり、傷つけたりしないでください。
- 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼してください。

手元スイッチの使いかた

手元スイッチの使いかた

手元スイッチ各部の名称と働き

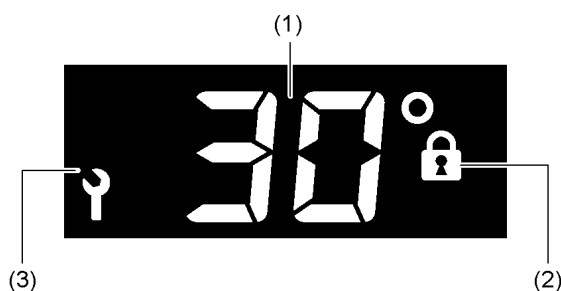


No.	名 称	説 明
(1)	操作ボタン	ボタンを押すとベッドが動き、ボタンを離すとその位置で止まります。連動ボタンを押すと、背・膝が連動して動きます。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。 ※ 同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。 ※ メモリーボタンはボタンを押している間、あらかじめ登録されたポジションに向けて動きます。  ベッドの操作について(P.22)
(2)	表示パネル	各ボトムの動作・エラーコードを数字で表示します。  表示パネル(P.16)
(3)	電源ランプ	ベッドの通電状態をお知らせします。 点灯（緑）：正常な通電状態 消 灯 ：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合 点滅（赤）：断線や障害物との接触などの異常を表示
(4)	操作選択ランプ	操作ボタンの有効（操作可能）／ロック（操作禁止）をお知らせします。 点灯（白）：操作が可能な状態 消 灯 ：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態 ※ 一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手につなど本体に揺れがあると自動で点灯します。  操作ボタンのロック（操作禁止）(P.19)
(5)	設定ボタン	操作ボタンを押すと各種設定が変更できます。  設定モードへの切りかえ(P.17)

警 告

ベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。
 ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

表示パネル



(1) 角度／高さ表示／エラーコード

動作中の各ボトムの動作を数字で表示します。

背角度：0°～70°まで 1°間隔で表示

膝角度：0°～26°まで 1°間隔で表示

高 さ：28cm～63cm まで 1cm 間隔で表示(3 モーターのみ)

(2) 操作禁止表示

操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅します。

(3) レンチマーク

手元スイッチの交換時期をお知らせします。

設定モードにしたとき、手元スイッチ上部の表示パネルにレンチマークが点灯しているときは、手元スイッチの交換時期であることを示しています。

販売店または、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

Note

- 表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。
- らくらくモーションの場合、膝角度は表示されません。
- エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。

電源の入れかた

ベッドおよび手元スイッチの電源の入れかたは、自動オフ設定によって異なります。

自動オフ設定が無効の場合（初期状態）

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができます。

自動オフ設定が有効の場合

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯します。

2. 操作ボタンのいずれかを押す。

表示パネルに「On」と表示されます。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。（電源 ON 状態）

Note

電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると操作できます。

手元スイッチの使いかた

設定モードへの切りかえ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。

⚠ 警告

設定ボタンを一度押してから、20 秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

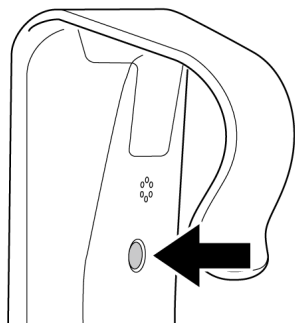
設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

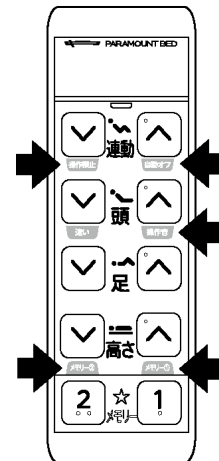
設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。

破損のおそれがあります。

1. 設定ボタンを押す。



2. おもて面の設定選択ランプが点灯します。



※ 速さ切りかえボタンは使用できません。

3. 操作ボタンで各種設定を行う。

4. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。

※ 設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

ベッドの各動作設定

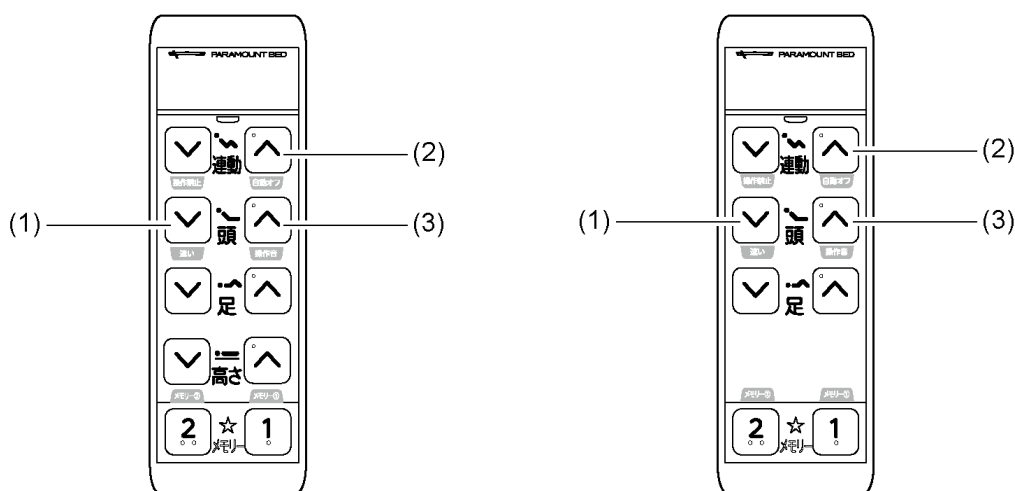


設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確認してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

設定モードへの切りかえ(P.17)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッドの動作速度の設定	速さ切りかえボタンは使用できません。	-	-
(2)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(3)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

手元スイッチの使いかた

操作ボタンのロック（操作禁止）

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

※ 初期状態では、すべての操作が可能になっています。



操作ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、ベッドが動作する場合があります。

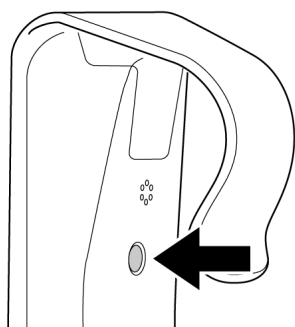
意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

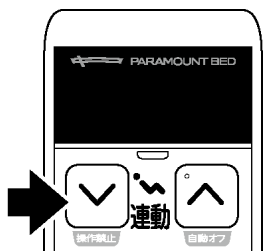
1. 設定ボタンを押す。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。



2. 操作禁止ボタンを押す。

操作選択ランプは点滅します。ロックが設定されているボタンは操作選択ランプが消灯します。

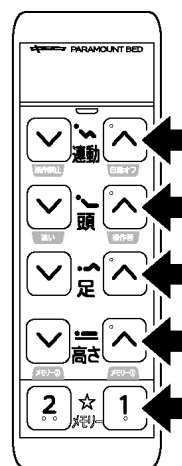


3. 禁止に設定したいボタンの $\square$ を押す。メモリーボタンを禁止にしたい場合はメモリー1 ボタンを押す。

操作選択ランプが切りかわります。

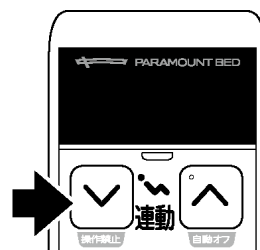
禁止する：点滅→消灯

解除する：消灯→点滅



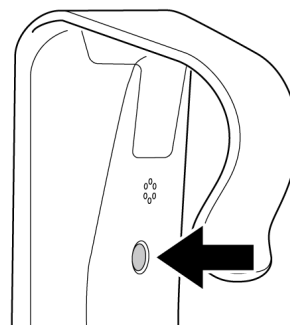
4. 操作禁止ボタンを再度押す。

操作選択ランプの点滅が消えます。



5. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。



メモリーポジションの登録

メモリーボタンにベッドのポジションを最大 2 個まで登録できます。

警告

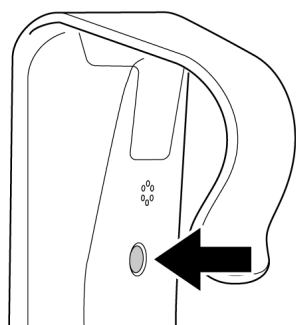
設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

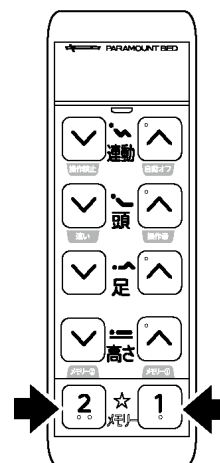
1. 登録したいポジションまでベッドを動作させる。
2. 設定ボタンを押す。
おもて面の設定選択ランプが点灯します。



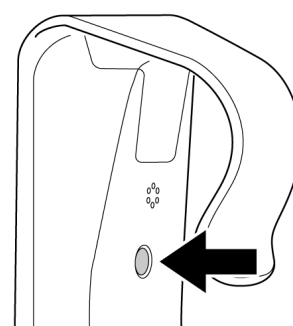
3. 登録したいメモリーボタンを押す。

現在のベッドのポジションが仮登録され、仮登録の数値が表示パネルに表示されます。

※ メモリーボタンを 3 秒長押しすると、初期設定のポジションが仮登録されます。



4. 仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押す。
現在のベッドのポジションが登録され、設定が確定します。



Note

表示パネルに表示された仮登録の数値が消えた後に、設定ボタンを押してください。仮登録の数値表示中に押しても設定が確定されません。

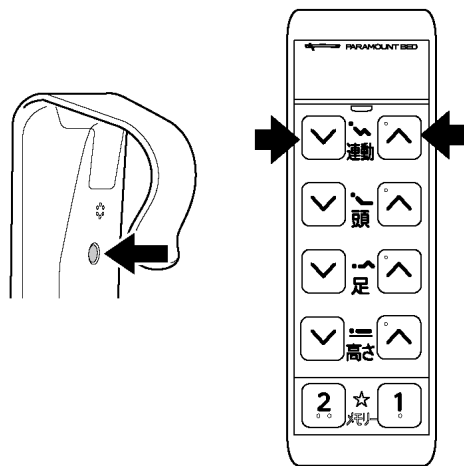
手元スイッチの使いかた

設定のリセット

設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

1. 設定モードにしていないう状態で、操作ボタン2ヶ所と設定ボタンを同時に3秒以上押す。

設定が初期状態になります。



初期状態

設定	状態
操作禁止	ロック解除（すべての操作が可能）
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30° 膝：6° 高さ調節：動作なし
メモリー2	背：0° 膝：0° 高さ調節：動作なし

Note

- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容は取消されません。

ベッドの操作について

操作のしかた



身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドを操作しないでください。

はさまれて、けがをするおそれがあります。特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドを操作するときは、動く部分に身体の一部を入れないでください。ベッドの動きによって、すき間にはさまれけがをするおそれがあります。

以下の内容に注意してください。

- ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認する。
- ベッドの可動部とフレームやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとのすき間に注意する。
- ベッドを並べて使用する場合、隣のベッドの動作に注意する。
- ベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離す。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドをご使用の方の状態に注意してください。

ボトム角度やベッドの高さ調節中に、ベッドをご使用の方が動くと、ベッドからの転落や、すき間にはさまれるなど、けがをするおそれがあります。特に、体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドを操作するとき、使用者が正しい向きと姿勢の状態であることを確認してください。

- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

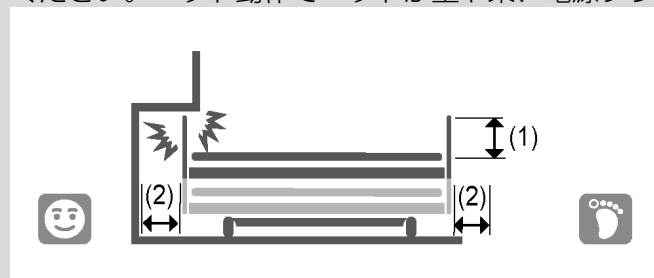
ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。



高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに注意してください。

ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に 35cm (1) 動きます。(3 モーターのみ) 高さ調節をするときに前後に動作するため、壁から 9cm 以上 (2) 離して設置してください。ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。



手元スイッチ操作時は周囲を確認してください。

手元スイッチの操作によって、周囲のものやベッドが破損・変形するおそれがあります。

ベッドの操作について

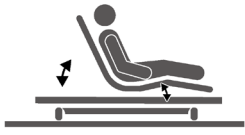
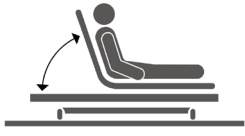
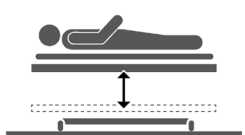
背・膝・高さの動かし方

背・膝・高さをあげるときは $\triangleleft$ 、さげるときは $\triangleright$ を押して調節します。

連動ボタンを押すと、背・膝が連動して動きます。ボタンを押している間は動作を続け、離すと止まります。

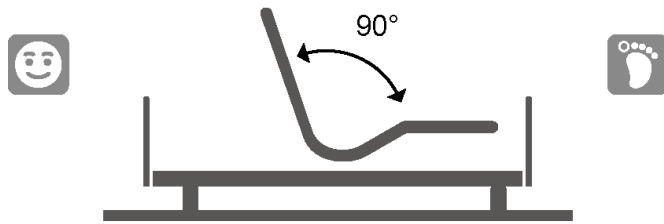
Note

同時に 2 つ以上のボタンを押すと、その位置でベッドの動きが止まります。再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

ボタンの種類	調整位置	動作範囲	
らくらくモーション 「連動」	背の角度 背の動きと連動して 膝も自動で動く	背：0°～ 70° 膝：0°～ 20°	
背あげ・さげ 「頭」	背の角度	0°～ 70°	
膝あげ・さげ 「足」	膝の角度	0°～ 26°	
高さ調節 「高さ」 (3 モーターのみ)	ベッドの高さ	28cm ～ 63cm※1	

※1) ベッドの高さをさげると、33cm で一旦停止し、低速運転に切替わり、「ピピッ」と音が鳴りながらベッドが動作します。

角度制限機能



胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムの間の角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。

Note

- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で背ボトムと膝ボトムは動きます。

一旦停止後のさげ動作について

床高 33cm 以下にさがる場合は、安全性確保のため警告音を鳴らし、それまでの速度より低速でさがります。
床高 33cm 以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに 28cm（最低高さ）までさがります。

Note

一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても消すことができません。

メモリーポジション

あらかじめ設定したポジションに向けて、ベッドが動作します。

メモリーボタン操作

ボタンを押している間は動作を続け、離すとその位置で止まる。メモリーポジションの位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

Note

メモリーポジションを床高 33cm より低く登録している場合は、動作中に床高が 33cm になると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら動作します。

初期設定

メモリーポジションには、あらかじめ初期設定が登録されています。お好みのポジションを登録することもできます。

	登録ポジション
メモリー1	背あげ：30° 膝あげ：6° 高さ調節：動作なし
メモリー2	背あげ：0° 膝あげ：0° 高さ調節：動作なし

※ 初期設定ではメモリーボタンを押しても高さ調節はしません。

 メモリーポジションの登録(P.20)

適合オプション一覧

適合オプション一覧

本書に記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※ 製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q → KS-161Q を示します。



オプションは正しい組み合わせを確認した上でご使用ください。

誤った組み合わせで使用すると、思わぬけがや故障するおそれがあります。

記載されているオプション以外は使用しないでください。

意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

Note

適合品は、仕様の変更や組み合わせなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

適合表

製品名		品 番
ベッドサイドレール	KS-161Q シリーズ	KS-161Q ・ KS-166 ・ KS-126M/W
	KS-171Q シリーズ	KS-171Q ・ KS-176 ・ KS-146M/W
	KS-191Q シリーズ	KS-191Q
	KS-111Q シリーズ	KS-111Q ・ KS-116Q
ソフトガードサイドレール		KS-019A
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-161QC ・ KS-171QC ・ KS-191QC ・ KS-126MC/WC ・ KS-146MC/WC ・ KS-166QC ・ KS-176QC
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-161QT ・ KS-171QT ・ KS-191QT ・ KS-126MT/WT ・ KS-146MT/WT ・ KS-166QT ・ KS-176QT
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-099A/B
	サイドグリップ	KS-030A
ソフトカバー付ベッド用グリップ	サイドグリップ	KS-030AC
ベッドサイドテーブル		KF-1920 ・ KF-1930 ・ KF-1970 ・ KF-1980 ・ KF-1924 ・ KF-1934 ・ KF-1974 ・ KF-1984 ・ KF-282 ・ KF-2923 ・ KF-2933 ・ KF-2973
サイドテーブル		RF-30R
キャスター		KQ-PB1C ・ KQ-PB3C
ハイトスペーサー		RQ-PB10H
パネルセット		RQ-PB06AP ・ RQ-PB16AP
オプション受セット		RQ-PB06S
脚座ゴムシート		KQ-P732
脚座カーペット		KQ-P731
スマートハンドル		NN-2000
Active Sleep ANALYZER		NN-1030
電動介護リフト		KQ-781 ・ KQ-787 ・ KQ-788S ・ KQ-788L

ベッドサイドテーブル

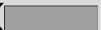
警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。

背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

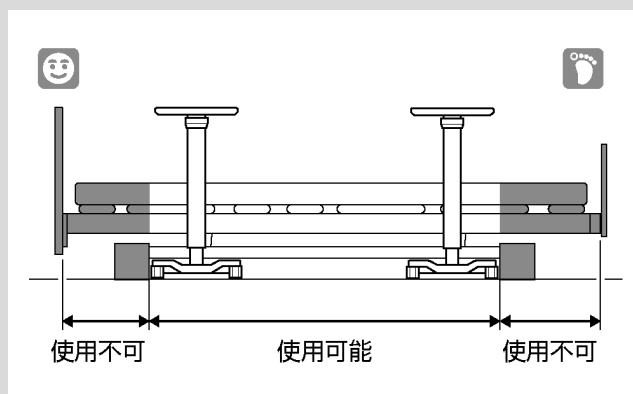
ベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

注意

イラストは、一旦停止位置にしたときのベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。( 部分は使用不可) ベッドサイドテーブル・サイドテーブルはこの範囲で使用してください。

下図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブル・サイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。

ベッドの高さが 33cm(一旦停止位置)以下ではベッドサイドテーブルのキャスターとベッドが接触するため使用できません。(3 モーターのみ)



ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する(設置している)場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。(3 モーターのみ)

電動介護リフトの使用上のご注意

電動介護リフト（床走行式リフト／ベッド設置式リフト）は、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

適合表

電動介護リフト
KQ-781・KQ-787・KQ-788S・KQ-788L

⚠ 警告

電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。

誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。

- ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
- ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
- ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドと電動介護リフトの脚やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込んでいるときは、電動介護リフト（床走行式）のキャスターのロックを掛けないでください。

ベッド操作のときにベッドと電動介護リフト（床走行式）の脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフト（床走行式）が転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフト（床走行式）が破損・変形したりするおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。

電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

電動介護リフト（ベッド設置式）はベッド頭側のみ設置できます。足側には設置できません。

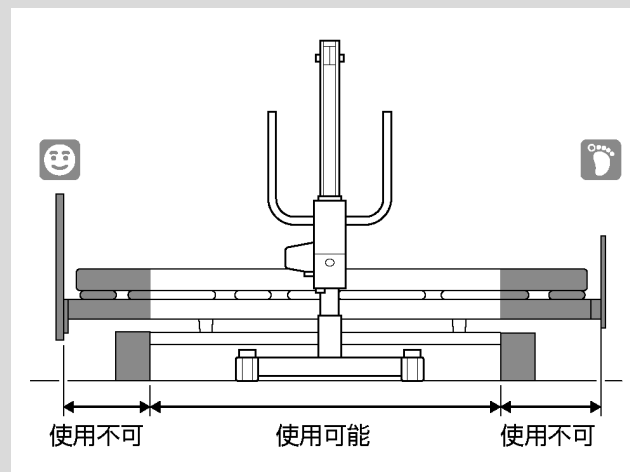
誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

電動介護リフト（床走行式）は使用可能な範囲で使用してください。（ 部分は使用不可）

イラストの範囲外で使用すると、電動介護リフト（床走行式）が破損・変形するおそれがあります。

ベッドの高さが 33cm（一旦停止位置）以下では電動介護リフト（床走行式）のキャスターとベッドが接触するため使用できません。（3 モーターのみ）



ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では電動介護リフトを使用できません。（3 モーターのみ）

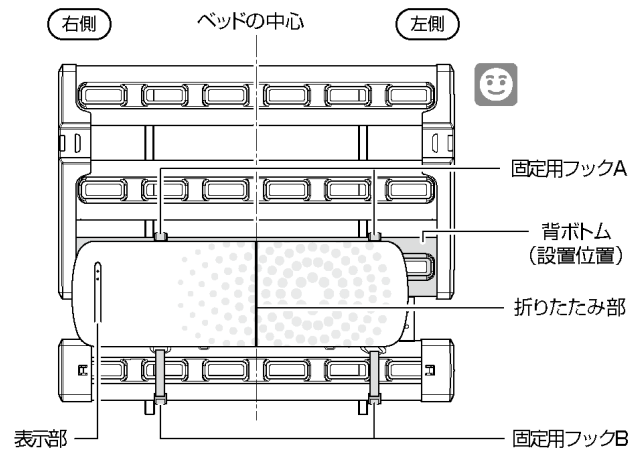
ActiveSleepANALYZER(NN-1030)取付方法

設置のときは ActiveSleepANALYZER の取扱説明書と一緒に参照してください。

1. 本体（表側）にある表示部をベッドの右側にして、右図を参照して背ボトムに設置する。

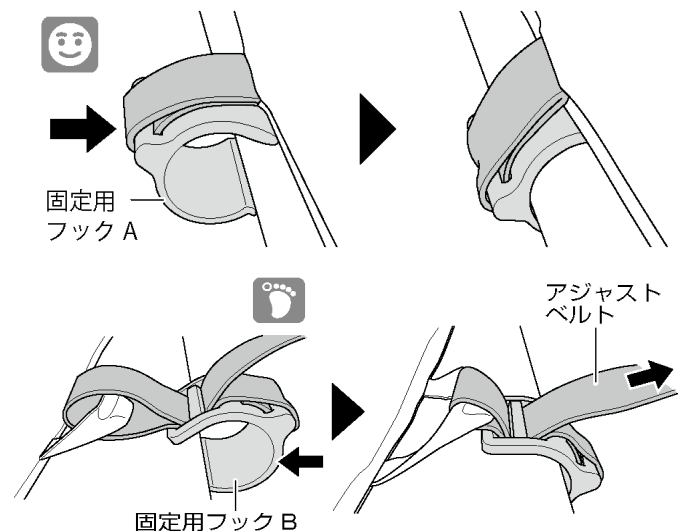


- ☑ 本体折りたたみ部がベッドの中心になるように位置を調節してください。

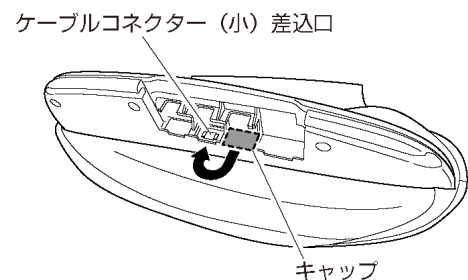


※右側・左側は使用者が寝た状態で説明しています。

2. 固定用フック A（2ヶ所）をベッド頭側から足側に向かって背ボトムにはめ込む。
3. 固定用フック B（2ヶ所）を、アジャストベルトを伸ばしてから、ベッド足側から頭側に向かって背ボトムにはめ込む。アジャストベルトを足側に引っ張って本体をベッドに固定する。



4. 本体（側面）にあるファスナーを開き、ケースを出す。
5. USB コネクター（小）差込口のキャップを取り外し、ケーブルコネクター（小）差込口に取り付ける。



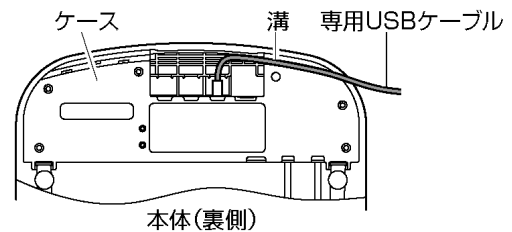
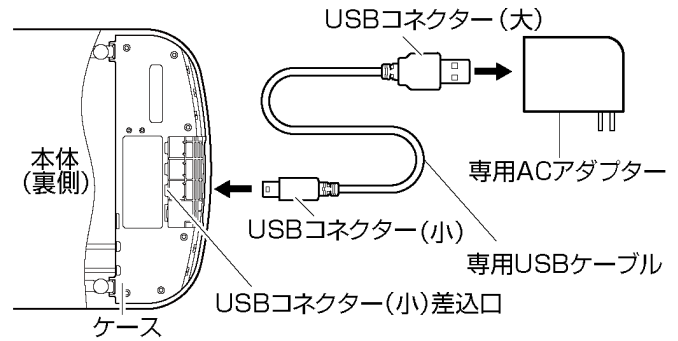
6. USB コネクタ（小） をケースにある USB コネクタ（小） 差込口に接続する。

7. 専用 AC アダプターの USB コネクタ（大） 差込口に、USB コネクタ（大） を接続する。



USB コネクタの向きに気をつけて、USB
☒ コネクタ差込口や専用 AC アダプターに差し込んでください。

8. ケース裏側にある溝に専用 USB ケーブルをはめ込む。



9. ファスナーを閉める。

10. 専用 AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。本体表示部の電源ランプが緑色に点滅していることを確認する。



☒ ファスナーを閉めるときに専用 USB ケーブルを傷つけないようにしてください。

11. マットレスを本製品の上に敷く。

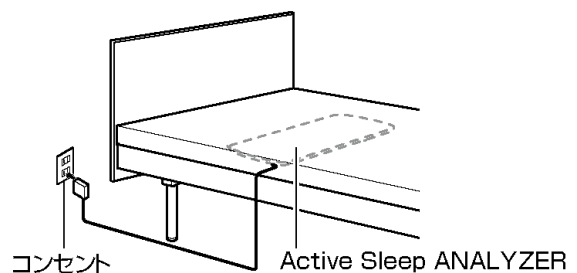
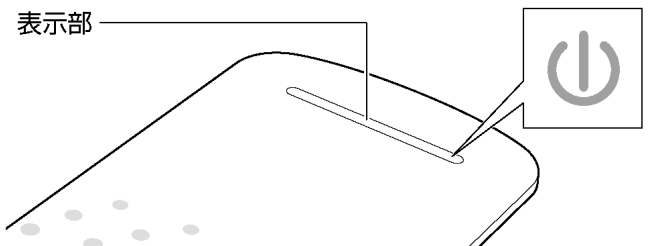


☒ 手元スイッチでベッドの背ボトムを最大角度まで操作して、専用 USB ケーブルが引張られていないか確認してください。

☒ 手元スイッチでベッドの高さを最大まで操作して、専用 USB ケーブルが引張られていないか確認してください。（3 モーターのみ）

☒ ベッドの背ボトムをフラットにもどし、リンクなどベッドの可動部とのはさみ込みや引掛りなどが無いかどうか確認してください。

☒ 専用USBケーブルが家具のすき間などにはさみ込まれていないことを確認してください。



適合オプションの組み合わせと取付位置

適合オプションの組み合わせと取付位置は、図を参照して正しく取り付けてください。正しい組み合わせと取付位置を「○」で、誤った組み合わせと取付位置を「×」で表しています。

警告

ベッドに直接取り付けて使用するベッドサイドレール・ベッド用グリップなどは、弊社が指定する適合品をお使いください。

指定以外の製品や他社製品と組み合わせると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取り付けるときは、正しい向きで確実に取り付けてください

- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差し込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取り付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組み合わせを確認した上でご使用ください。

意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。

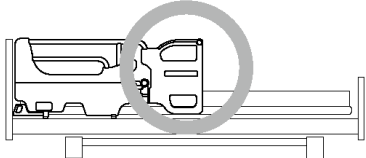
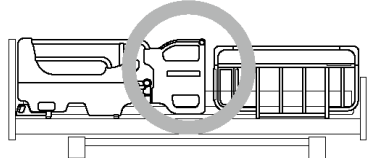
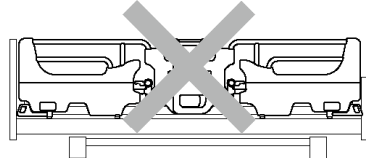
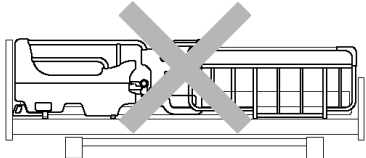
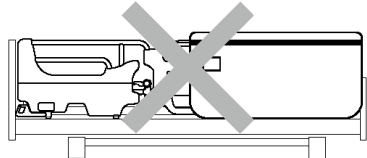
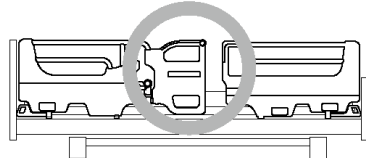
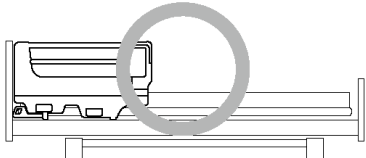
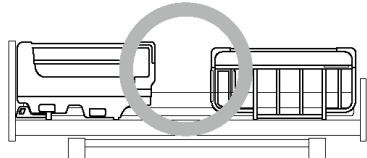
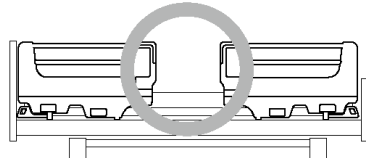
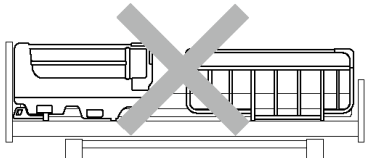
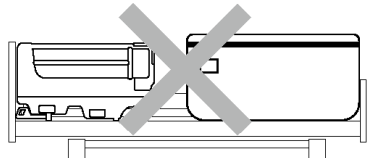
- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

Note

- 正しい組み合わせと取付位置については、モーター数・サイズ（ボトム幅・長さ）・デザインに関わらず全機種共通です。
- 各オプションにソフトカバーやクリアカバーを取り付けた場合の正しい組み合わせと取付位置も同じです。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

ベッド用グリップを使用する場合

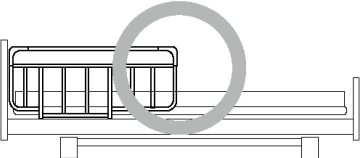
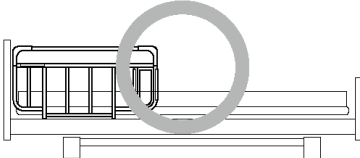
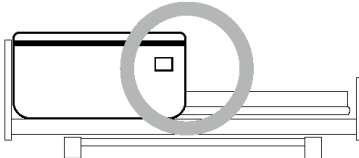
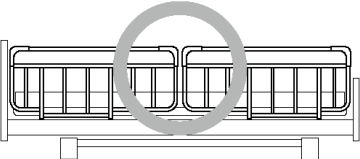
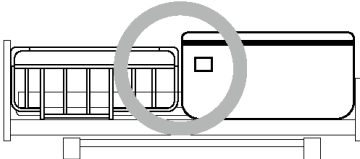
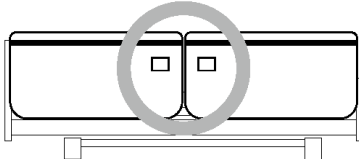
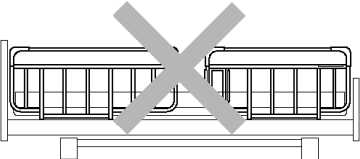
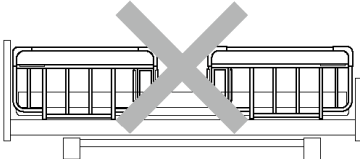
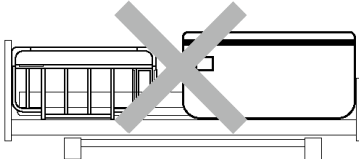
各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

KS-099A/B 	- KS-099A/B + - KS-191Q 	- KS-099A/B + - KS-099A/B 
- KS-099A/B + - KS-161Q シリーズ - KS-171Q シリーズ - KS-111Q シリーズ 	- KS-099A/B + - KS-019A 	- KS-099A/B + - KS-030A 
KS-030A 	- KS-030A + - KS-191Q 	- KS-030A + - KS-030A 
- KS-030A + - KS-161Q シリーズ - KS-171Q シリーズ - KS-111Q シリーズ 	- KS-030A + - KS-019A 	

適合オプションの組み合わせと取付位置

ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組み合わせでは高さに差が生じる場合があります。

● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-191Q 	● KS-019A 
● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ + ● KS-019A 	● KS-019A + ● KS-019A 
● KS-191Q + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-191Q + ● KS-191Q 	● KS-191Q + ● KS-019A 

適合マットレス

適合マットレス



マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。

ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。

このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組み合わせてご使用ください。

弊社が指定する適合品以外のマットレスと組み合わせると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりするおそれがあります。

Note

- 詳細な取り扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

専用マットレス

品名	セミシングル	シングル	厚 (cm)
	91×191	97×195	
カルムライト	RM-E251	—	8
MA-S モデル	MA-S120HA	MA-S120SA	12
	MA-S150HA	MA-S150SA	15
	MA-S160HA	MA-S160SA	16

一般用マットレス

品名	セミシングル	シングル	厚 (cm)
	91×191	97×195	
グレイクス	RB-ZA091G	RB-ZA097G	15

適合マットレス

介護用マットレス

種類	品名	セミシングル	厚 (cm)
		91×191	
スタンダードマットレス	ソフティア (通気)	KE-261T	8
	プレグラ-STR (通気)	KE-511T	8
	プレグラ- (通気)	KE-551Q	
	エバーリーフ 7 (通気)	KE-541T	7
	エバーリーフ 7 (清拭)	KE-541S	
	クレーター (通気)	KE-761	9
	ウレタンフォーム (清拭)	KE-251	8

種類	品名	セミシングル	厚 (cm)
		91×191	
ハイ・スタンダードマットレス	ストレッチフィットⅡ (通気)	KE-7A1T	10
	ストレッチフィットⅡ (清拭)	KE-7A1S	
	ストレッチフィットⅡ (ドライ)	KE-7A1U	
	ストレッチフィットⅡ (さらドライ)	KE-7A1N	
	ストレッチフィットⅡ (抗ウィルス)	KE-7A1V	
	エバーフィット C3 (通気)	KE-611TQ	10
	エバーフィット C3 (清拭)	KE-611SQ	
	エバーフィット C3 (ドライ)	KE-611UQ	
	エバーフィット C3 (抗ウィルス)	KE-611V	
	エバーリーフ (清拭)	KE-531	9

種類	品名	セミシングル	厚 (cm)
		91×191	
床ずれ防止マットレス (静止型：ウレタンフォーム)	ストレッチグライドⅡ (通気)	KE-7B1T	12.5
	ストレッチグライドⅡ (ドライ)	KE-7B1U	
	ストレッチグライドⅡ (さらドライ)	KE-7B1N	
	ストレッチグライドⅡ (抗ウィルス)	KE-7B1V	
	エバーブラウド (通気)	KE-621TQ	13
	エバーブラウド (清拭)	KE-621SQ	
	エバーブラウド (ドライ)	KE-621UQ	
	エバーブラウド (抗ウィルス)	KE-621V	

種類	品名	セミシングル	厚 (cm)
		91×191	
床ずれ防止マットレス (圧切替型：エア)	エアマットレス ここちあ利楽 (通気)	KE-971T	13
	エアマットレス ここちあ利楽 (清拭)	KE-971S	
	エアマットレス ここちあ利楽 flow (通気) ※1	KE-911T	17
	エアマットレス ここちあ利楽 flow (清拭) ※1	KE-911S	

※1 ベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Q シリーズ・KS-111Q シリーズ・KS-019A・KS-099A/B・KS-030A をご使用ください。

緊急時のベッド操作

停電時やベッドの故障時にベッドを操作する場合は、以下の方法で行ってください。

Note

停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、ベッドのチェックを行い、故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

手動による操作

停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

スマートハンドルによる操作

スマートハンドル（NN-2000：別売）で、「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。

手動での背さげ／戻しかた

注意

作業は2人以上で行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜いて、作業を行ってください。

ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

背ボトムをしっかり持ってください。

背ボトムがさがり、けがをするおそれがあります。

作業は手袋などをしてからおこなってください。

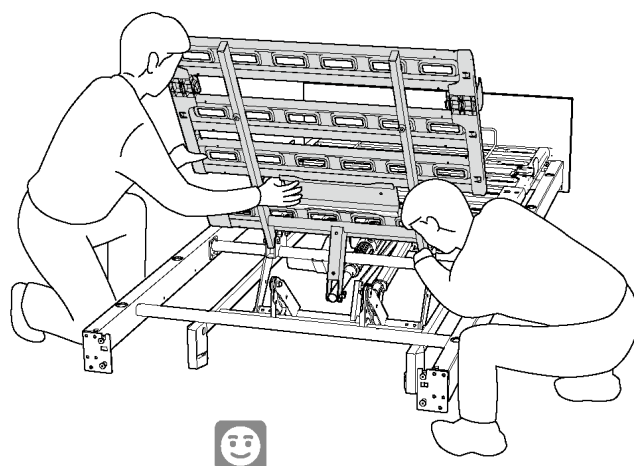
けがをするおそれがあります。

使用する工具

ペンチ・プライヤー（小）・六角レンチ(対辺 4mm と 5mm)

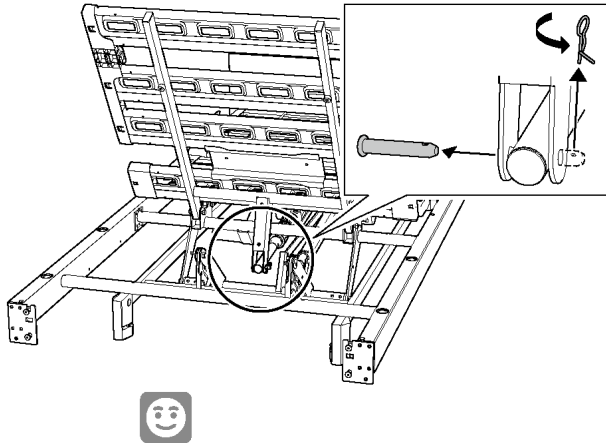
背さげのしかた

1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
3. ヘッドボードを取り外す。
☞ ボードの取り付け・取り外し(P.58)
4. 背ボトムを支える。

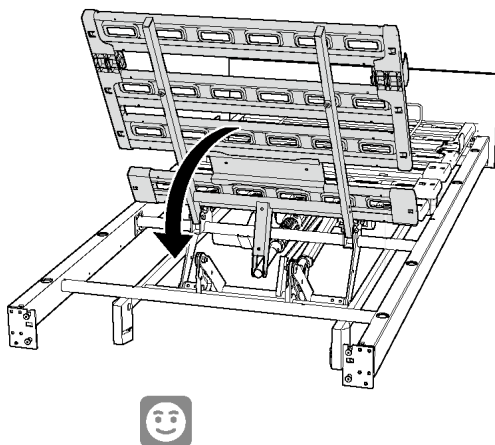


緊急時のベッド操作

5. 図の矢印方向にひねり、スナップピンを取り外す。
6. 背アクチュエーターを手で支えながら連結ピンを取り外す。



7. 背ボトムをゆっくり降ろす。



8. ヘッドボードを取り付ける。

Note

- スナップピンを取り外すときは、ラジオペンチなどで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと取り外しが容易です。
- 取り外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。
- 作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時に手動で背さげを行った場合は、電源の復帰後、「背さげのしかた」の手順を逆に行ってベッドを元の状態に戻してください。

Note

連結ピンは、手動で背さげしたときに取り外したものを使用してください。

注意

スナップピンは、再利用しないでください。

ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピンは、販売店またはパラテクノロジーセンターまでご依頼ください。

スマートハンドルによるベッド操作

スマートハンドル（NN-2000：別売）で、「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。

注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

操作中にベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

Note

- ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。
- 詳細な取り扱いは、スマートハンドルに添付されている取扱説明書をご覧ください。

故障かなと思ったら



被災したベッドは点検・修理をご依頼ください。

地震・火災・水害などで被災したベッドを使用しないでください。感電や火災、ベッドの動作異常により、けがをするおそれがあります。販売店またはパラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンターまで修理をご依頼ください。
- 電動で背さげをできない場合は、手動で背さげを行ってください。
- 故障や一時的異常の場合は、手元スイッチの表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。
- 手元スイッチの電源ランプの状態が変わることがあります。

📞 お問い合わせ先(P.62)

Note

修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

📞 製品識別表示ラベル(P.45)

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		—	電源プラグはコンセントに差し込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。
	緑点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。 📞 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.19)
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。
	常時・速い赤点滅 (0.2秒ごと)	H0～H9	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	ボタン押下時のみ	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差し込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。

故障かなと思ったら

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
	遅い赤点滅 (1秒ごと)	U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてから操作を行ってください。
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスから抜いて、差し直してください。  アクチュエーターの差し直し(P.40)
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。
		U3	—	一度電源プラグを抜いて、表示部の表示が消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
		U4	連続運転しましたか？（アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります）	20～57 分間放置してください。（放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます）
		U5	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。  アクチュエーターの差し直し(P.40)
		U6	電源プラグが抜けかけていませんか？	一度電源プラグを抜いて、コンセントに差し直してください。
		U9	動作が停止した状態で、長い間（30 秒以上）ボタンを押し続けていませんか？	ボタンを離してから再度操作してください。
			—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	消灯	—	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか？	手元スイッチのコネクターをコントロールボックスに差し込んでください。  アクチュエーターの差し直し(P.40)
	—	—	操作ボタンを押したときに操作禁止  が表示されましたか？	操作ボタンのロック（操作禁止）が設定されています。手順に従って設定を解除してください。  操作ボタンのロック（操作禁止）(P.19)
	緑点灯	—	頭（足）の  を押したときに膝（背）がさがりましたか？	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。  角度制限機能(P.24)

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
			アクチュエーターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。 🔧 アクチュエーターの差し直し(P.40)
各ポジションが正常にとれない	—	—	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
ベッドの移動ができない （キャスター取付時のみ）	—	—	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。（4ヶ所）
ヘッドボードが外れない	—	—	ボルトで固定されていませんか？	ボルトを取り外してください。 🔧 ボードの取り付け・取り外し(P.58)

アクチュエーターの差し直し

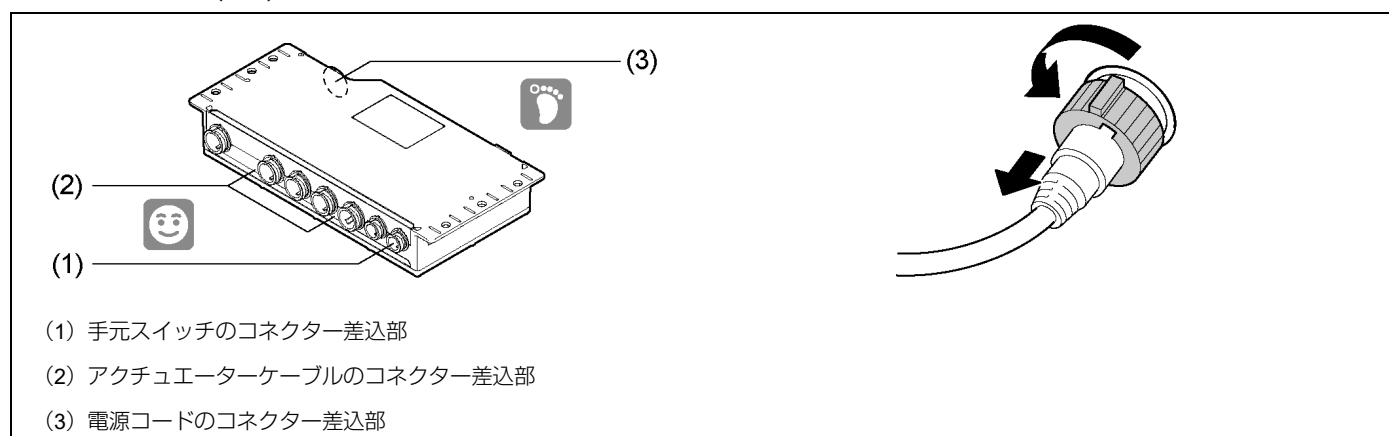
1. コネクターキャップを半時計回りに回しコネクターキャップを外す。

2. 各コネクターを差し直す。

※ コネクターを差し込むときは、コネクターキャップを時計回りに「カチッ」と音がするまで回してください。

※ コントロールボックスの位置は、各部の名称を参照してください。

🔧 各部の名称(P.3)



定期点検と日常のお手入れ

定期点検

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、「組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

📞 組立後の点検(P.60)

📞 お問い合わせ先(P.62)

日常のお手入れ

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

⚠ 警告

お手入れや掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。

ベッドに水をかけて掃除しないでください。

ショートして感電するおそれがあります。

⚠ 注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

手や足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

ベッド本体

汚れの落とし方

1. 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭く。
2. 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取る。
3. 乾いた布で残った水分を拭き取る。

消毒のしかた

下記の消毒剤を指定の濃度や消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	～0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	～0.05%

Note

オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

⚠ 注意

揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。

変色・変質するおそれがあります。

消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。

破損・変質のおそれがあります。

中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。

水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

オプション／マットレス

各製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

長期保管と移動（移設）



指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。

ボトムやボードを持って移動すると、ベッドが落下してベッドが破損したり、けがをするおそれがあります。

保管するときは、ベッドの電源プラグは、コンセントから抜いてください。

電源プラグを抜き、お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合を未然に防止してください。

移動（移設）するときは、電源プラグをコンセントから外し、ひもなどで電源コードをベッドに固定してください。

電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

移動（移設）

ベッドを移動（移設）する場合、背や腰などを痛めないように、少なくとも2人以上で運んでください。

手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。

長期保管

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
- 温度 -10 ～ 50℃、湿度 30 ～ 90% RH の環境で保管してください。
- 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低位置までさげてください。（3モーター）
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいでください。
- 使用を再開される場合は、点検を行ってください。

仕様

各部の寸法

項 目		箇 所	
a	全幅	最大外形寸法	
b	全長	最大外形寸法	
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ	
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム上面 (最低高さ～最高高さ)	
e	ヘッドボードの高さ	ボトム上面～ボード上端	
f	フットボードの高さ	ボトム上面～ボード上端	

ベッド本体仕様

品番		RA-B136SA／ RA-B136SB	RA-B116SA／ RA-B116SB
寸法 (cm)		a104 b.203.1 c.137.3 d.27.5～62.5 e.34.4 f.18.4	a104 b.203.1 c.137.3 d.29.5 e.34.4 f.18.4
製品質量 (kg)		84	64
モーター数		3	1+1
電源コード長さ		有効長さ 3.3m	
手元スイッチ		10 ボタン	8 ボタン
主な材質	ボード	MDF などオレフィン系シート	
	本体	スチール製...電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形)	
	マットレス止め (大)	スチール製...めっき仕上げ	
	マットレス止め (小)	ポリプロピレン	
最大利用者体重		138kg	
安全動作荷重※1		174kg (1700N)	
最大マットレス厚※2		13.5 (17) cm	
動作保証条件		10～40℃ /30～75%RH	
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0～70±7° / 30 秒	
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0～26±3° / 13 秒	
	昇降高さ調節量/所要時間※3	35cm / 40 秒	—
耐用期間 (予想耐用期間)		8 年 自己認証 (弊社データ) による※ただし消耗品は除く	

※1 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※2 ベッドサイドレール (161Q・191Q シリーズ) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。() 寸法は、ベッドサイドレール (KS-171Q・111Q シリーズ・KS-019A)、ベッド用グリップ (KS-099A/B・KS-030A) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。
※上記製品を組み合わせて使用の場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。
※ベッドサイドレールやベッド用グリップの詳細につきましては「適合表」を参照してください。
 適合表(P.26)

※3 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 33cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

電装品

形式	リニアアクチュエータ（DC モーター）
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：50W 以下 膝あげ：45W 以下 高さ調節：140W 以下
待機電力	3W 以下
最大連続使用時間	3 分（休止時間 57 分※4）
動作音	45dB 以下

※4 ベッドを最大連続使用時間（3 分）動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間。

梱包部品の確認

梱包部品の確認

開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店またはコールセンターまでご連絡ください。

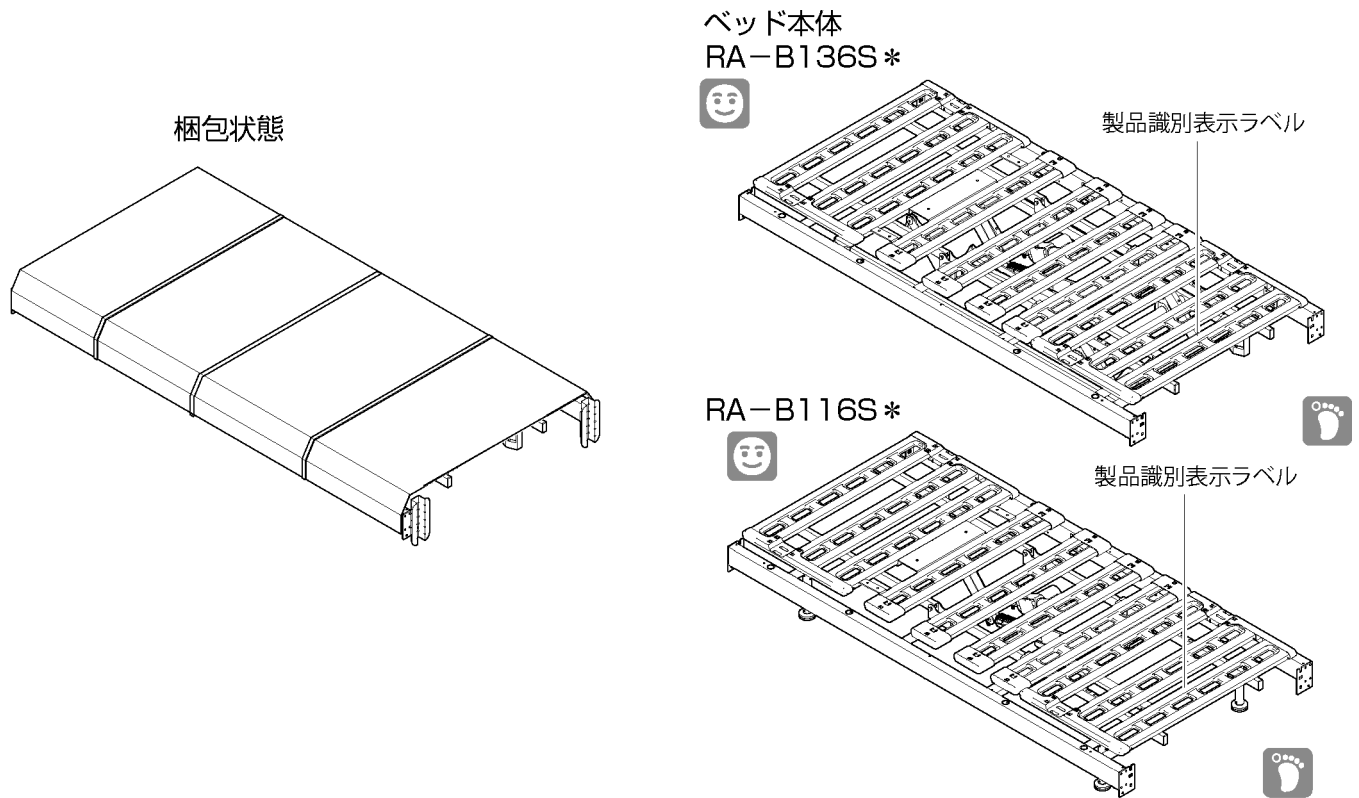
 警告

組立作業は 2 人以上で行ってください。
ベッドを持ち上げる作業でバランスが崩れけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

 注意

組立作業のときは、手や指をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

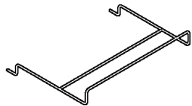
ベッド本体



ベッドの種類	RA-B136S *	RA-B116S *
品番	RAB1350	RAB1150
質量 (kg)	73 (77)	53 (57)
梱包サイズ (cm)	203.6×100.2×29.4	203.6×100.2×32.7

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

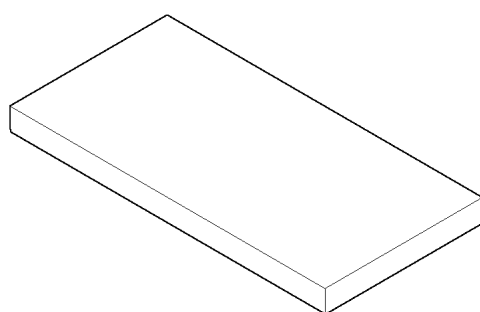
部品名	図	数量	部品名	図	数量
マットレス止め (大) RAB1350：背ボトム裏に 固定されています。 RAB1150：足ボトム裏に 固定されています。		1	マットレス止め (小) 取扱説明書に同梱されて います。		4

付属品

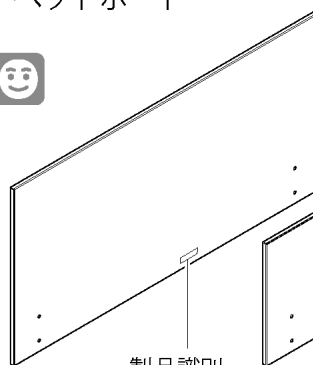
- 取扱説明書
- すき間および電装品についての注意事項

ボードセット

梱包状態

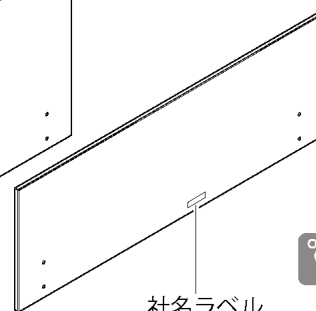


ヘッドボード



製品識別
表示ラベル

フットボード

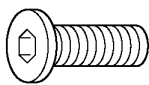
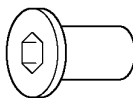


社名ラベル

品番	RAB16S * B
質量 (kg)	10.5 (12.5)
梱包サイズ (cm)	109.7×57.7×5.7

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

部品名	図	数量	部品名	図	数量
六角穴付ボルト (短・対辺 4mm)		8	六角穴付ナット (対辺 5mm)		8

組立準備

組み立てに必要な工具

- ニッパー×1
- スパナ（対辺 13mm）×2
- 六角レンチ（対辺 5mm）×1
- 六角レンチ（対辺 4mm）×1

⚠ 注意

組立作業は、ベッドの近くに壁やものがない場所で行ってください。

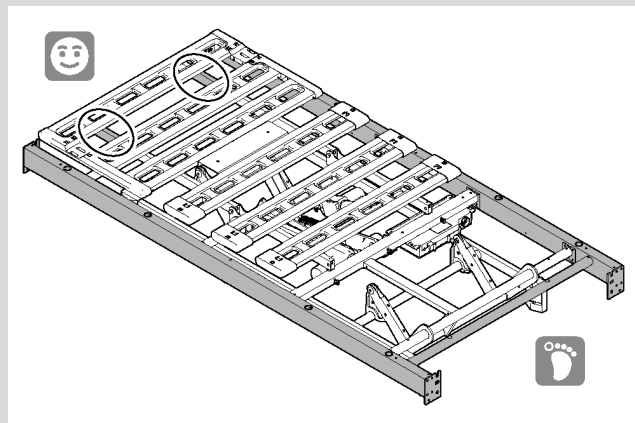
ベッドが壁やものなどに当たり、破損するおそれがあります。

持ち運びや組み立てをするときは、下図網掛け部のフレームを持って作業してください。

網掛け部以外を持つと、手や指が挟まれてけがをしたり、破損のおそれがあります。

持ち運びのとき、重量を軽くするため下図のように足ボトムを取り外すことができます。

☑ 重量を軽くする場合の足ボトムの取り外し・取り付け(P.48)



フレームをゆかに置くときは、注意してください。

ゆかを傷つけるおそれがあります。

畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合やビニル系のゆか材の上で使用する場合は注意してください。

材質によってはゆか材がへこむおそれがあります。また、ゆか材が変色するおそれがあります。脚座の下に敷物（脚座ゴムシート KQ-P732・脚座カーペット KQ-P731：別売など）を敷いてください。

治具の取り外し

⚠ 注意

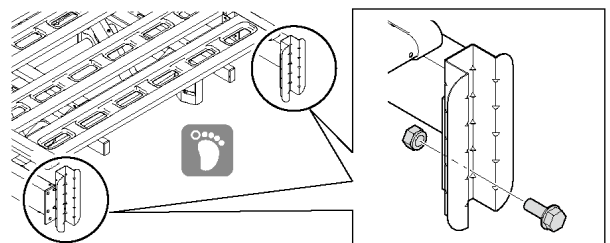
治具を取り外すときは、しっかりと治具をおさえてください。

治具が落下し、ゆかを傷つけるおそれがあります。

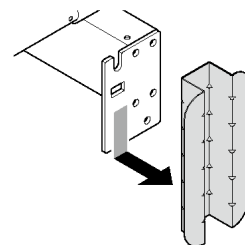
使用する工具

スパナ（対辺 13mm）×2

1. 工具を使用して、ベッド足側にある治具（左右 2 ヶ所）からボルトとナットを取り外す。



2. 治具をボード受金具から取り外す。



Note

取り外した治具・ボルト・ナットは使用しません。破棄してください。

Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- ☑ フレームなどに傷はありませんか？
- ☑ 治具（2 ヶ所）は取り外しましたか？

重量を軽くする場合の足ボトムの取り外し・取り付け

ベッドを運ぶときなど、足ボトムを取り外すとベッドを軽量化できます。取り外さない場合は、「固定バンドの取り外し」から作業を行ってください。

☞ 固定バンドの取り外し(P.49)



注意

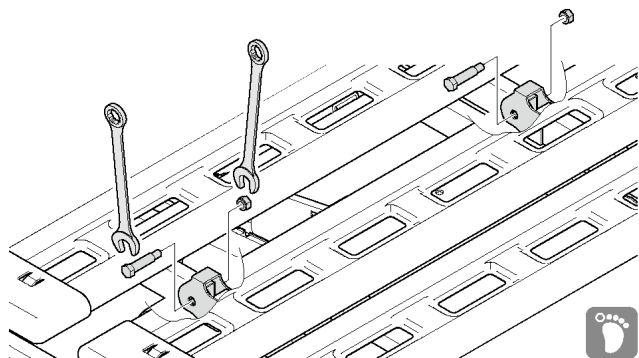
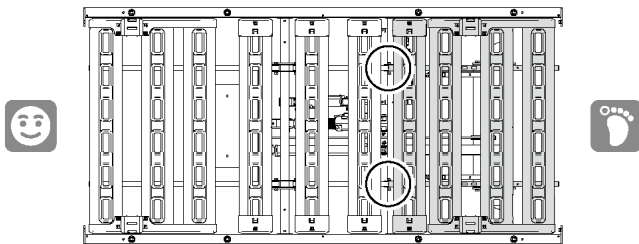
手や指などをはさまないよう注意してください。
けがをするおそれがあります。

使用する工具

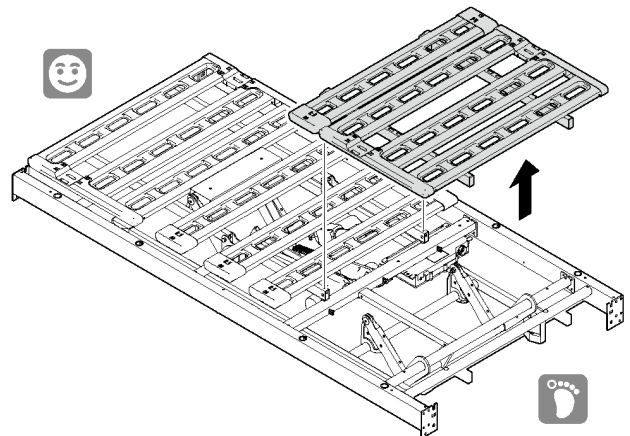
スパナ (対辺 13 mm) ×2

取外方法

1. 足ボトムと膝ボトムを連結しているボルトとナットを取り外す。(左右2ヶ所)



2. 足ボトムをベッドから取り外す。



Note

取り外したボルトとナットは、紛失しないように保管してください。

取付方法



警告

ボルト類は工具を使用して、確実に締め付けてください。

ボルト類がゆるんでいると、ベッドが落下して、けがをするおそれがあります。

Note

足ボトムを取り付ける前に、「電源コードの配線」「手元スイッチコードの配線」を終わらせると作業がスムーズです。

☞ 電源コードの配線(P.50)

☞ 手元スイッチコードの配線(P.53)

取外方法と逆の手順で行って足ボトムを元の状態に戻してください。

1. 足側フレームに足ボトムをのせる。
2. 足ボトムと膝ボトムを取り外したボルトとナットで固定する。(左右2ヶ所)



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- ☒ 足ボトムと膝ボトムを固定しているボルトとナットが、確実に締め付けられていますか？ (2ヶ所)

固定バンドの取り外し

固定バンドの取り外し

Note

- 別売のキャスターやハイトスペーサーを取り付ける場合は、固定バンドを取り外す前にベッドを反転させて取り付けてください。取付方法は各オプションの取扱説明書を参照してください。
- ケーブルをフレームにまとめているバンド（黒）は切らないでください。

注意

固定バンド（白）を取り外すときにカッター等の刃物を使用する場合は注意してください。

ベッドを傷つけるおそれがあります。

手元スイッチとマットレス止め（大）を固定している固定バンド（白）を取り外すときは手で支えながら取り外してください。

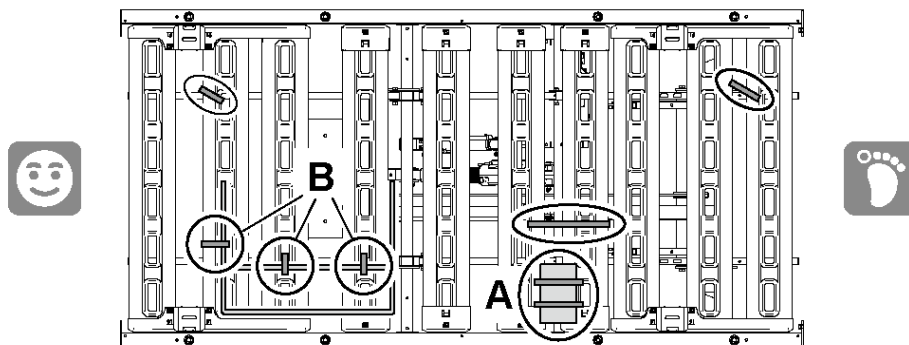
落下してゆかを傷つけたり、製品が破損するおそれがあります。

使用する工具：ニッパー×1

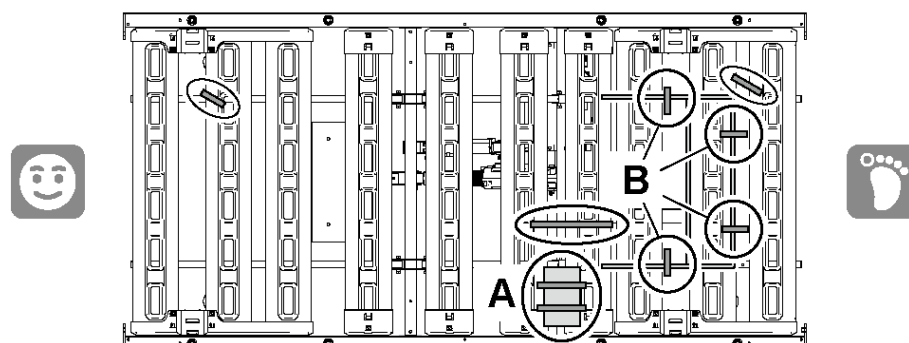
1. 下図を参照に固定バンド（白）を取り外す。

A：手元スイッチ B：マットレス止め（大）

【RA-B136S*（3 モーターベッド）】



【RA-B116S*（1+1 モーターベッド）】



電源コードの配線

コンセントの方向にあわせて配線してください。

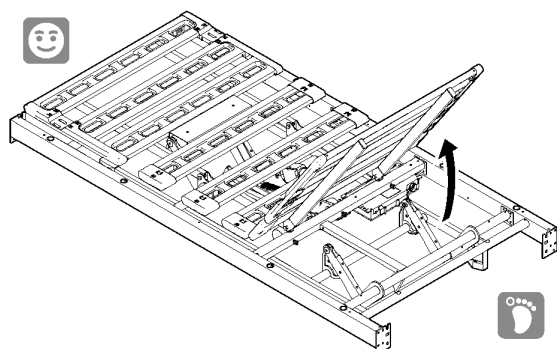


電源コードは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。下記に注意して配線してください。

- ベースフレームの上側を乗り越えないようにしてください。（3モーターのみ）
- 脚座やキャスターなどでコードを踏まないようにしてください。
- ベッドの高さを最高まであげた状態でも突っ張らないようにしてください。（3モーターのみ）
- ベッドの可動部（ハイローリンクなど）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- ハイローリンクの間に配線しないでください。
- 組立作業中は電源プラグをコンセントに差し込まないでください。誤操作によりベッドが動作して、けがをするおそれがあります。

作業は、足ボトムをあげて手で支えた状態で行います。



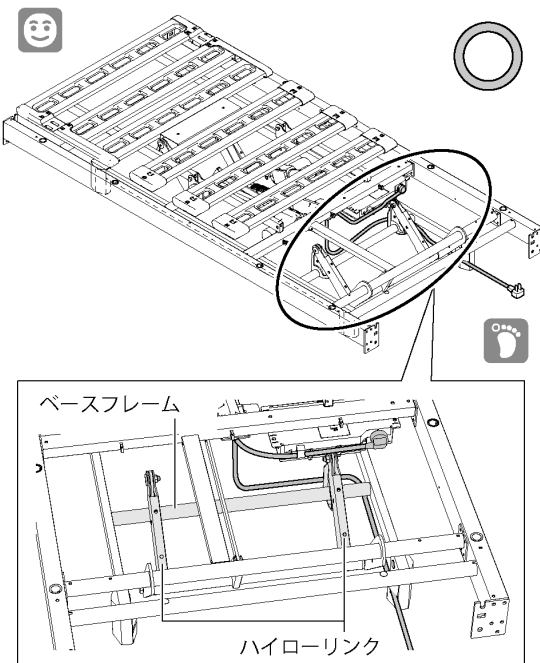
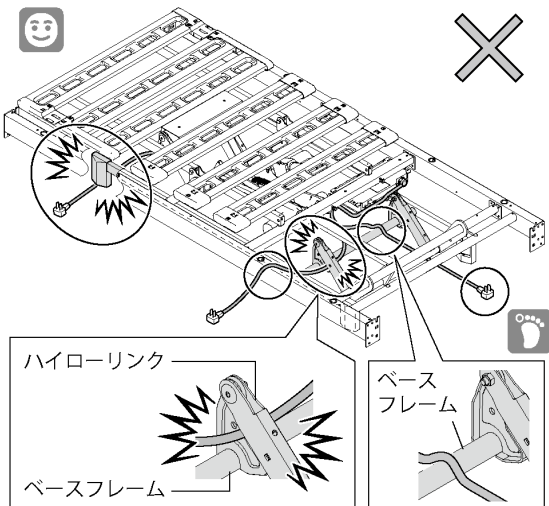
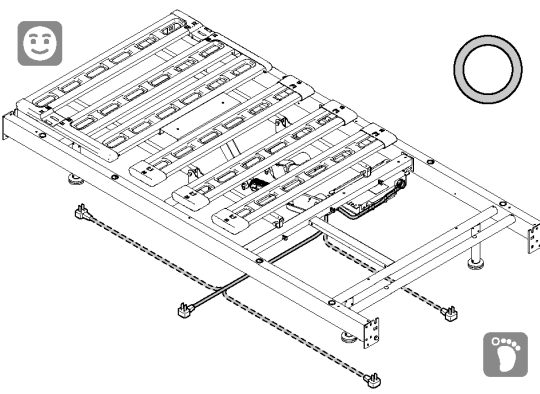
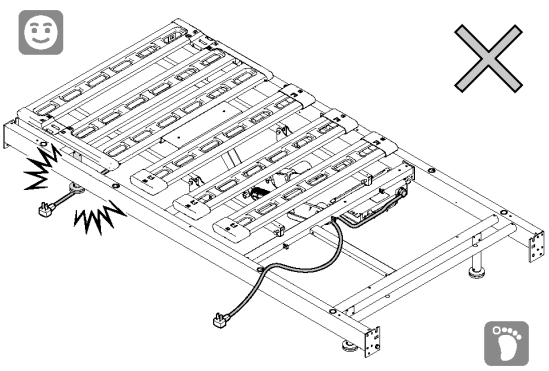
足ボトムをあげすぎないでください。

足ボトムに接触してフレームを傷つけるおそれがあります。

電源コードの配線

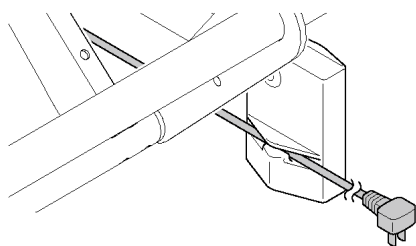
1. 電源コードをベースフレーム（3 モーターのみ）とサイドフレームの下側を通してベッド外側に出す。

※ イラストは足ボトムを外した状態で説明しています。

機種	正しい例	誤った例
3 モーター	 正しい例: 3 モーター ベースフレーム ハイローリンク	 誤った例: 3 モーター ハイローリンク ベースフレーム
1+1 モーター	 正しい例: 1+1 モーター	 誤った例: 1+1 モーター

Note

3 モーター（RA-B136S*）は、脚座の内側にあるコードガイドに電源コードをはめ込んでください。



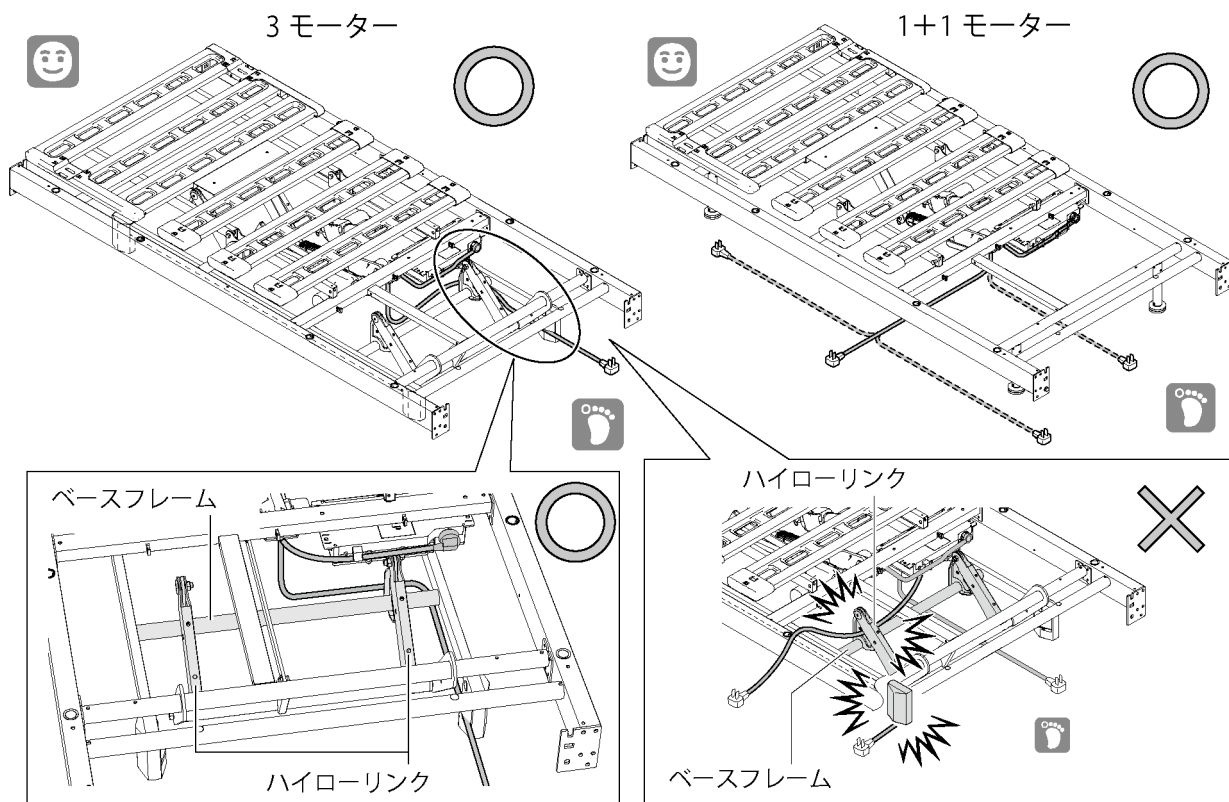
Check

作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

☒ コードは可動部（ハイローリンクなど）と接触していませんか？

☒ 脚座やキャスターなどでコードを踏んでいませんか？

☒ 下記イラストのように正しく配線していますか？



【3 モーターのみ】

☒ コードは、コードガイドにはめ込まれていますか？

☒ ベッド高さを最低から最高まで操作したとき、コードが引っ張られたり、挟み込まれたりしていませんか？

☒ コードはベースフレームを乗り越えていませんか？

【1+1 モーターのみ】

☒ コードはサイドフレームの下側を通してベッド外側に出されていますか？

手元スイッチコードの配線

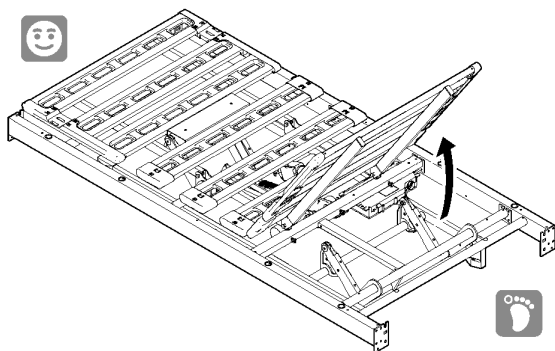
手元スイッチコードの配線

注意

コードは正しく配線してください。

- 断線や破損のおそれがあります。コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。
- ベッドの可動部（ハイローリンクなど）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- 脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。

作業は、足ボトムをあげて手で支えた状態で行います。



注意

足ボトムをあげすぎないでください。

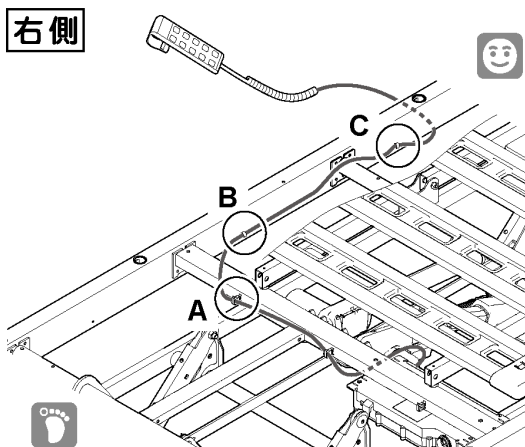
足ボトムが接触してフレームを傷つけるおそれがあります。

1. 手元スイッチを使用する方向を決める。（左右／頭足側 全4方向）
2. 下図を参照して、使用する方向にコードをクリップで留めながら順序に従って配線する。

※ イラストは配線をわかりやすくするため、ボトムを取り外した状態で記載しています。

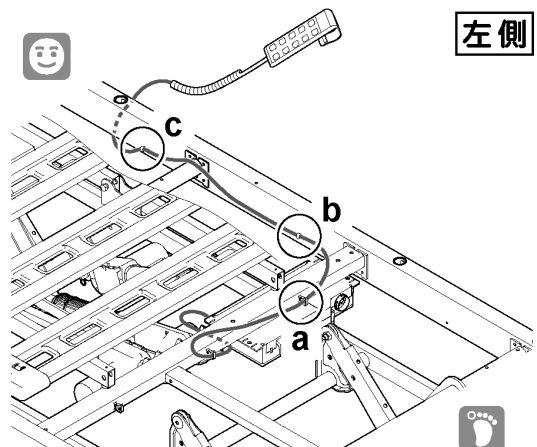
頭側で手元スイッチを使用する場合

右側



クリップ順序A→B→C

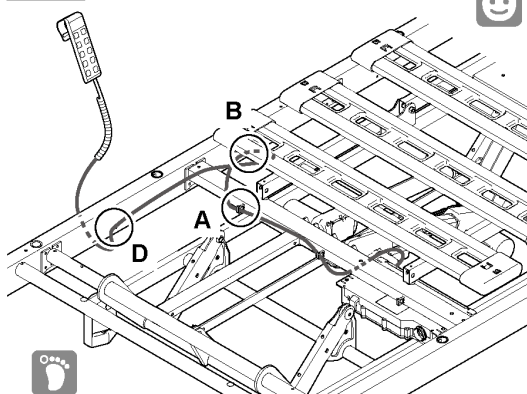
左側



クリップ順序a→b→c

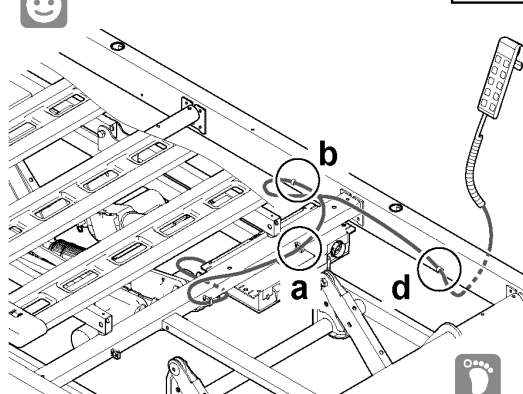
足側で手元スイッチを使用する場合

右側



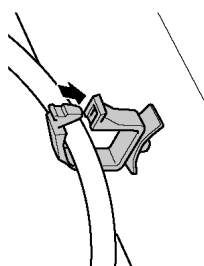
クリップ順序A→B→D

左側

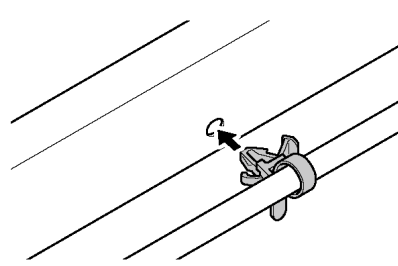


クリップ順序a→b→d

拡大図（クリップA／a）



拡大図（A／a以外のクリップ）



コードに付属しているクリップをサイドフレームの穴に差し込む

3. クリップ（3ヶ所）に配線後、手元スイッチは下記の場所を通して本体フレーム外側へ設置する。

3 モーター：ベースフレームの上側とサイドフレームの下側の間を通す。

1+1 モーター：サイドフレームの下側を通す。

フレームの場所は各部の名称を参照してください。

 各部の名称(P.3)



作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

- ☒ コードが正しく配線されていますか？
- ☒ コードがクリップで固定されていますか？

ボトム幅の切りかえ

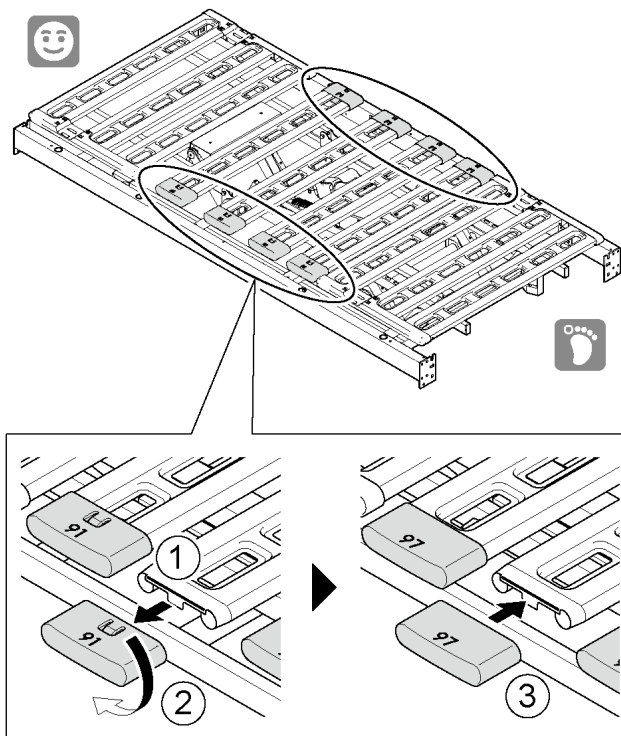
警告

ボトムはマットレスサイズ（セミシングル・シングル）にあわせて正しく設定してください。

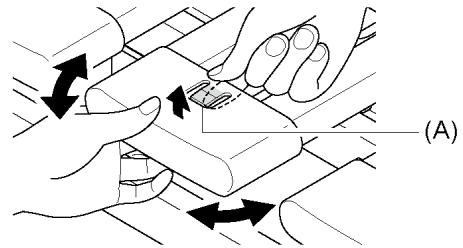
誤った設定で使用すると、ボトムとマットレスの間に意図せぬすき間ができ、けがをするおそれがあります。

Note

- 工場出荷時はセミシングル（ボトム幅 91cm）に設定されています。
- シングル（ボトム幅 97cm）へ変更の場合のみ作業を行います。



1. 各ボトムのボトムエッジのツメ A を押さえながら、取り外す。（片側 4 ヶ所ずつ）



Note

ボトムエッジが外れにくい場合は、ツメ A を押さえながらボトムエッジを左右に振りながら引くと外しやすいです。

2. ボトムエッジを裏返して刻印を確認してください。切りかえたいサイズの刻印が上側になるように取り付ける。

幅91cm	幅97cm

マットレスのサイズ	ボトム刻印
セミシングル	91
シングル	97

3. ボトムエッジを各ボトムの奥まで差し込む。

Note

ボトムエッジの取り付け後、手前に引いて外れないことを確認してください。

Check

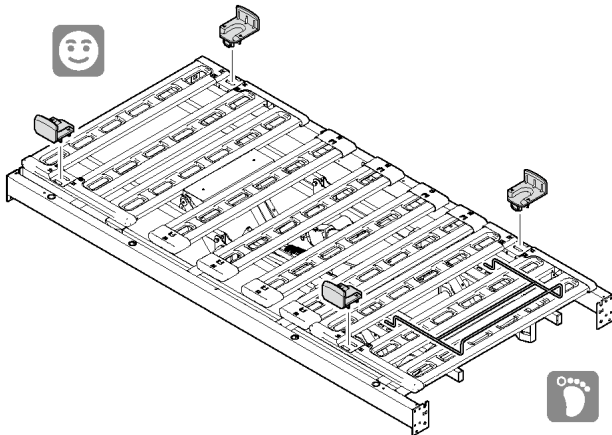
作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- ☒ ボトムエッジが外れないように奥まで差し込まれていますか？（片側 4 ヶ所）
- ☒ すべてのボトムエッジがマットレス幅にあった幅で取り付けられていますか？（片側 4 ヶ所）

マットレス止めの取り付け・取り外し

取付位置

- マットレス止め（小）：背ボトム 左右各 1 ヶ所、
足ボトム 左右各 1 ヶ所
- マットレス止め（大）：足ボトム 先端部 1 ヶ所

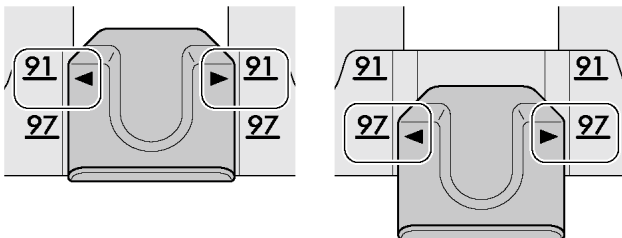


マットレス止め（小）

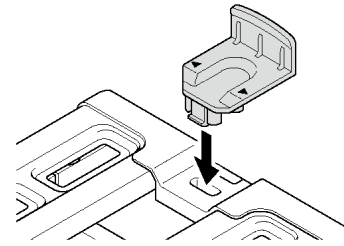
取り付け

1. マットレス幅にあわせて、ボトムにある取付穴の位置を決める。

マットレスのサイズ	マットレス止め表示位置
セミシングル	91
シングル	97



2. 取付穴にマットレス止め（小）のツメを真っすぐ差し込む。



Note

- マットレス止め（小）は 4 ヶ所すべてが同じ位置になっていることを確認してください。
- 「パチッ」と音がするまで差し込んでください。
- 取り付け後、内から外へ軽く押し、確実に取り付けられていることを確認してください。

取り外し

マットレス止め（小）の下部をつまみながら押しあげてください。

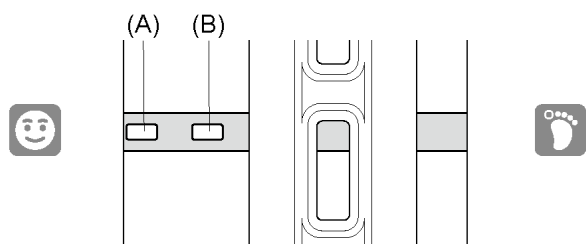
マットレス止めの取り付け・取り外し

マットレス止め（大）

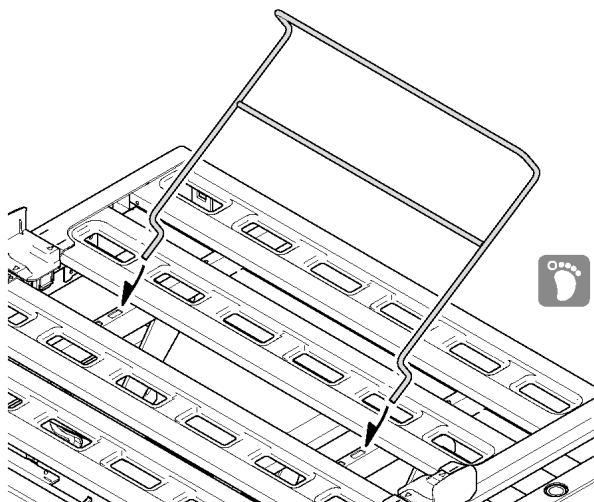
取り付け

1. マットレスの長さにあわせて、足ボトム中央にある取付穴の位置を決める。

マットレスのサイズ	取付穴
セミシングル	(A)
シングル	(B)



2. 取付穴にマットレス止め（大）の先端をたわませながら、穴に差し込む。



Note

- 差し込みにくい場合は、マットレス止め（大）の先端を左右から少し押し、穴の間隔にあわせながら差し込んでください。
- 取り付け後、脚側方向へ軽く押し、確実に取り付いていることを確認してください。

取り外し

取り付けの逆の手順でマットレス止め（大）を取り外してください。

Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- ☒ ボトムにしっかりと取り付けられていますか？
（小 4 ヶ所：大 1 ヶ所）
- ☒ マットレス止め（小）はマットレス幅にあわせて、すべて同じ位置に取り付けられていますか？
（4 ヶ所）
- ☒ マットレス止め（大）はマットレス長さにあった位置に取り付けられていますか？

ボードの取り付け・取り外し

使用する工具

六角レンチ(対辺 5mm)

六角レンチ(対辺 4mm)



警告

ボードは、ボルトとナットで確実に取り付けてください。

ボードの取り付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。



注意

ボードを取り付けるときは、落下させないように注意してください。

足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

ボードに濡れたタオルなどを掛けないでください。また加湿器などの蒸気を直接当てないでください。

ボードが破損・変形するおそれがあります。水分などがついた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

組立付属部品

図指表記	図	部品名	数量
A		六角穴付ボルト (対辺 4mm)	8
B		六角穴付ナット (対辺 5mm)	8

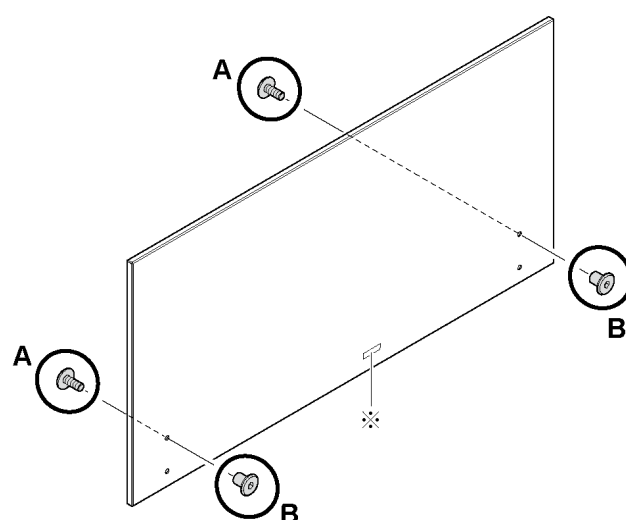
取付方法

ヘッドボードの取り付け

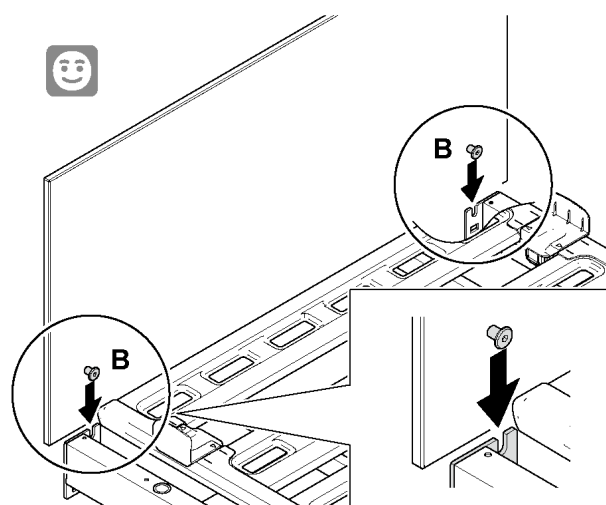
1. ヘッドボードの上の穴に、外側から六角穴付ボルト A を入れ、内側から六角穴付ナット B で仮固定する。(左右各 1 ヶ所)

※ ヘッドボードは製品識別表示ラベルがベッド内側です。

※ フットボードは社名ラベルがベッド外側です。

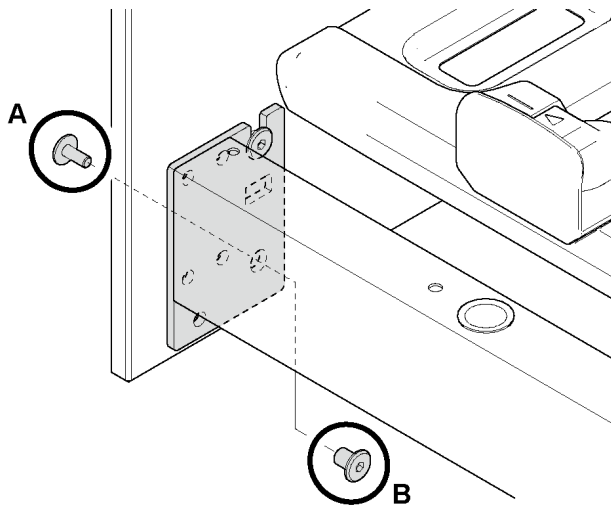


2. ヘッドボードに仮固定した六角穴付ナット B を、ボード受金具のくぼみにあわせて取り付ける。(左右各 1 ヶ所)



ボードの取り付け・取り外し

3. ボード受金具の下の穴に六角穴付ボルト A と六角穴付ナット B を取り付けて固定する。(左右各 1 ヶ所)



4. 仮固定していた上側のボルトとナットをしっかりと固定する。(左右各 1 ヶ所)

フットボードの取り付け

ヘッドボードの取り付けと同じ手順で作業を行ってください。

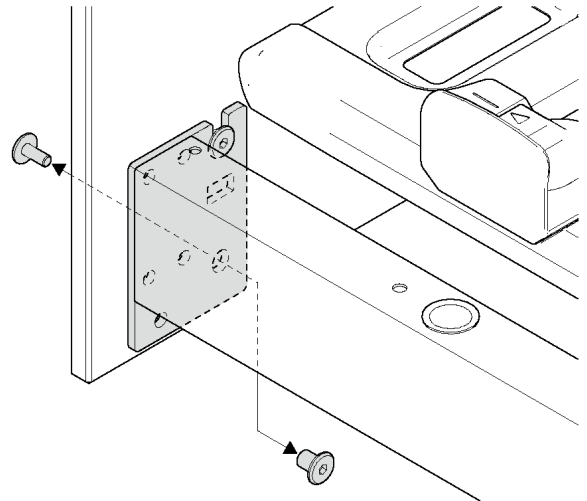
取外方法

ヘッドボードの取り外し

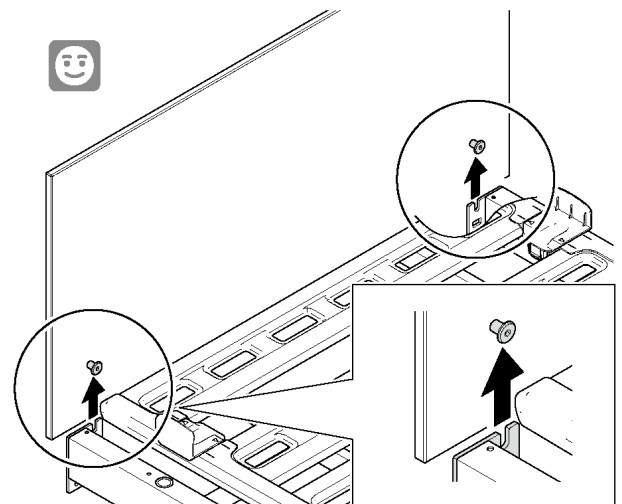


上のボルトとナットは取り外さないでください。
ボードが落下してけがをしたり、ゆかに傷がつくおそれがあります。

1. ボード受金具の上のボルトとナットをゆるめる。
(左右各 1 ヶ所)
2. 下のボルトとナットを取り外す。(左右各 1 ヶ所)



3. ヘッドボードを取り外す。



フットボードの取り外し

ヘッドボードの取り外しと同じ手順で作業を行ってください。



作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

- ☒ ボルトで確実に締結されていますか？

ヘッドボード：左右各 2 ヶ所

フットボード：左右各 2 ヶ所

- ☒ がたつきはありませんか？

組立後の点検

ベッドの組み立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、下記を点検してください。

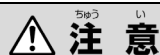
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

☎ パラテクノコールセンター(P.62)



組み立て後は点検を行ってください。

組み立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。



点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止してください。

けがや破損のおそれがあります。パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

チェック項目

動作確認

手元スイッチで「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

- ☐ 異常なし
- ☐ 異常音がする ➡ 販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
- ☐ 動作しない（電源ランプが点滅する） ➡ 「故障かなと思ったら」を参照してください。
- ☐ ベッドが家具などに当たる ➡ ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

ベッド・電装品・コード類の傷や変形

- ☐ ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？
- ☐ プラグやコード類に傷などがありますか？
- ☐ 手元スイッチに傷や破損がありますか？
- ➡ 傷などがある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

ラベルのはがれ

- ☐ ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？
- ➡ 異常がある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

ベッドのすべり

- ☐ ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？ ➡ ベッドが滑る場合は、脚座の下に敷物や脚座ゴムシートなどを敷いてください。

☎ パラテクノコールセンター(P.62)

☎ 故障かなと思ったら(P.38)

アフターサービスについて

保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の「故障かなと思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

消耗部品について

手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

お問い合わせ先

製品のアフターサービスについてご不明な場合、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

製品の故障や不具合等のお問い合わせ

パラテクノコールセンター

電話番号：0120-54-8639（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8:00 ～ 18:00 / 土・日・祝日 9:00 ～ 17:00 （年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

パラマウントベッド株式会社 直営店

眠りギャラリー TOKYO	〒104-0031	東京都中央区京橋 1 丁目 6 番 1 号三井住友海上テアポビル 1 階	(03)5250-1515(代)
眠りギャラリー SAPPORO	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)219-8800(代)
眠りギャラリー NAGOYA	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-6800(代)
眠りギャラリー KITTE 大阪店	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 2 番 2 号 K I T T E 大阪 3F	(06)-6485-7633(代)
眠りギャラリー FUKUOKA	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-0666(代)

パラマウントベッド株式会社

本 社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1111 (大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)271-1181 (代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町 2 丁目 3 番地の 3	(022)239-5211 (代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園 3 丁目 23 番 1	(048)878-0100 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間 5 丁目 3 番 33 号	(042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号	(06)6443-8791 (代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 2 2 3 番 1	(087)881-8900 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町 3 丁目 8 番 5 号	(082)293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-1131 (代)



保証書

品名	RA-B1 モデル	品番	RA-B136□□ RA-B116□□
保証期間	1年間	保証対象	本体

★	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前	
	ご住所	〒□□□ - □□□□ ☎ ()
★販売店	店名 住所	☎ ()

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より 1 年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。

- (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
- (2) 弊社が指定する適合品以外の製品と組み合わせて使用したことによる故障および損傷
- (3) お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
- (4) 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
- (5) 保証書のご提示がない場合
- (6) 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
- (7) 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

● This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修 理 内 容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター 0120-54-8639（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8：00～18：00／土・日・祝日 9：00～17：00（年始は休業いたします）

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号



PARAMOUNT BED